令和5年旭市議会第3回定例会会議録

議事日程（第1号）

令和5年9月4日（月曜日）午前10時開会

- 第 1 開 会
 - 第 2 人事の紹介
 - 第 3 議長報告事項
 - 第 4 会議録署名議員の指名
 - 第 5 会期の決定
 - 第 6 議案上程
 - 第 7 提案理由の説明並びに政務報告
 - 第 8 議案の補足説明及び報告の説明
-

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 開 会
 - 日程第 2 人事の紹介
 - 日程第 3 議長報告事項
 - 日程第 4 会議録署名議員の指名
 - 日程第 5 会期の決定
 - 日程第 6 議案上程
 - 日程第 7 提案理由の説明並びに政務報告
 - 日程第 8 議案の補足説明及び報告の説明
-

出席議員（20名）

1番	常世田 正 樹	2番	伊 藤 春 美
3番	菅 谷 道 晴	4番	戸 村 ひとみ
5番	伊 場 哲 也	6番	崎 山 華 英
7番	永 井 孝 佳	8番	井 田 孝
9番	島 田 恒	10番	片 桐 文 夫

11番 遠藤保明
13番 宮内保
15番 宮澤芳雄
17番 向後悦世
19番 木内欽市

12番 林晴道
14番 飯嶋正利
16番 伊藤房代
18番 景山岩三郎
20番 松木源太郎

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市長	米本弥一郎	副市長	飯島茂
教育長	向後依明	代表監査委員	木村哲三
秘書広報課長	椎名実	行政改革推進課長	榎澤茂
総務課長	小倉直志	企画政策課長	柴栄男
財政課長	山崎剛成	税務課長	向後秀敬
市民生活課長	江波戸政和	環境課長	高根浩司
保険年金課長	高野久	健康づくり課長	飯島正寛
社会福祉課長	向後利胤	子育て支援課長	多田英子
高齢者福祉課長	椎名隆	商工観光課長	大八木利武
農水産課長	池田勝紀	建設課長	齊藤孝一
都市整備課長	飯島和則	会計管理者	小澤隆
消防長	伊東秀貴	上下水道課長	多田一徳
教育総務課長	向後稔	生涯学習課長	伊藤弘行
体育振興課長	金杉高春	監査委員局長	杉本芳正
農業委員会事務局長	戸葉正和		

事務局職員出席者

事務局長	穴澤昭和	事務局次長	金谷健二
------	------	-------	------

開会 午前10時 0分

○議長（木内欽市） おはようございます。

ここで会議を開会する前に、あらかじめご了解をお願いいたします。

市の広報及び報道関係者の取材のため、この後、本議場内の写真撮影を行いますので、ご了解をいただきたいと思えます。

◎日程第1 開 会

○議長（木内欽市） ただいまの出席議員は20名、議会は成立いたしました。

これより令和5年旭市議会第3回定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

◎日程第2 人事の紹介

○議長（木内欽市） 日程第2、人事の紹介。

ここで人事の紹介をいたします。

去る8月19日、教育長に就任されました向後依明氏をご紹介します。

向後依明教育長より挨拶の申出がございますので、これを許可いたします。

向後依明教育長、ご登壇願います。

（教育長 向後依明 登壇）

○教育長（向後依明） おはようございます。

8月19日付で教育長に就任いたしました向後依明と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

大変貴重なお時間とは存じますが、木内議長から許可をいただきましたので、一言ご挨拶させていただきます。

初めに、6月の第2回定例市議会におきまして、私こと教育長の任命について皆様のご同意

を賜り、誠にありがとうございました。今この場に立たせていただき、改めてこの職責の重さを認識し、身の大変引き締まる思いでございます。

ここで、就任しての思いを申し述べさせていただきます。

教育は人づくりであり、人づくりはまちづくりへとつながってまいります。旭市の未来を担う子どもたちに学校教育を核として、それぞれの持つ無限の可能性を最大限に引き出しながら、知・徳・体バランスの取れた生きる力を育むため、そして生涯学習、文化スポーツ等の振興を通して、市民の皆様に希望に満ちた明るく豊かで充実した人生を送っていただくため、教育長として誠心誠意努めてまいり所存でございます。

何とぞ議会の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

◎日程第3 議長報告事項

○議長（木内欽市） 日程第3、議長報告事項。

議長の報告事項を申し上げます。

お配りいたしました印刷物により、ご了承いただきたいと思います。

◎日程第4 会議録署名議員の指名

○議長（木内欽市） 日程第4、会議録署名議員の指名。

会議録署名議員の指名を行います。

1番、常世田正樹議員、2番、伊藤春美議員、以上の2議員を指名いたします。

◎日程第5 会期の決定

○議長（木内欽市） 日程第5、会期の決定。

会期の決定を議題といたします。

おはかりいたします。本定例会の会期は、本日から9月27日までの24日間としたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(木内欽市) ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日から9月27日までの24日間と決しました。

なお、お配りいたしました日程表により会議の運営を図りたいと思います。ご協力をお願いいたします。

○議長(木内欽市) 市長より送付を受けております議案は、議案第1号から議案第14号までの14議案と報告第1号から報告第8号までの報告8件であります。配付漏れはありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(木内欽市) 配付漏れないものと認めます。

議案等説明のため、市長、副市長、教育長ほか関係課長等の出席を求めました。

◎日程第6 議案上程

○議長(木内欽市) 日程第6、議案上程。

議案第1号から議案第14号までの14議案と報告第1号から報告第8号までの報告8件を一括上程いたします。

議案第1号 令和4年度旭市一般会計決算の認定について

議案第2号 令和4年度旭市病院事業債管理特別会計決算の認定について

議案第3号 令和4年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

議案第4号 令和4年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

議案第5号 令和4年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について

議案第6号 令和4年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

議案第7号 令和4年度旭市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

議案第8号 令和4年度旭市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

- 議案第 9号 令和5年度旭市一般会計補正予算の議決について
- 議案第10号 令和5年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について
- 議案第11号 旭市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第12号 旭市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第13号 旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第14号 専決処分の承認について（令和5年度旭市一般会計補正予算）
- 報告第 1号 令和4年度旭市高額療養費貸付基金の運用状況について
- 報告第 2号 令和4年度決算に基づく旭市の健全化判断比率について
- 報告第 3号 令和4年度旭市公営企業決算における資金不足比率について
- 報告第 4号 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の令和4事業年度の業務実績に係る評価結果について
- 報告第 5号 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の第2期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に係る評価結果について
- 報告第 6号 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の事業経営状況について
- 報告第 7号 株式会社季楽里あさひの事業経営状況について
- 報告第 8号 私債権等の放棄について

◎日程第7 提案理由の説明並びに政務報告

○議長（木内欽市） 日程第7、提案理由の説明並びに政務報告。

提案理由の説明並びに政務報告を求めます。

市長、ご登壇願います。

（市長 米本弥一郎 登壇）

○市長（米本弥一郎） 本日、ここに令和5年旭市議会第3回定例会を招集し、当面する諸案件についてご審議を願うことといたしました。

初めに、本議会に提案いたしました各議案の提案理由を申し上げます。

議案第1号から議案第8号までは、令和4年度各会計の決算の認定についてでありまして、それぞれ監査委員の意見を付して議会の認定を求めるものであります。

議案第1号は、令和4年度旭市一般会計決算についてでありまして、歳入総額 324 億 7,712

万 4,349 円、歳出総額 310 億 5,000 万 1,551 円となり、翌年度へ繰り越すべき財源 9,509 万 1,891 円を差し引いた実質収支は、13 億 3,203 万 907 円となりました。

議案第 2 号は、令和 4 年度旭市病院事業債管理特別会計決算についてでありまして、歳入総額 24 億 8,870 万 6,071 円、歳出総額 24 億 8,870 万 6,071 円、歳入歳出同額となりました。

議案第 3 号は、令和 4 年度旭市国民健康保険事業特別会計決算についてでありまして、事業勘定は、歳入総額 82 億 7,439 万 685 円、歳出総額 79 億 2,611 万 5,240 円、差引き 3 億 4,827 万 5,445 円となりました。

施設勘定は、歳入総額 7,543 万 5,555 円、歳出総額 6,349 万 9,884 円、差引き 1,193 万 5,671 円となりました。

議案第 4 号は、令和 4 年度旭市後期高齢者医療特別会計決算についてでありまして、歳入総額 7 億 8,134 万 7,797 円、歳出総額 7 億 6,694 万 9,746 円、差引き 1,439 万 8,051 円となりました。

議案第 5 号は、令和 4 年度旭市介護保険事業特別会計決算についてでありまして、歳入総額 55 億 2,795 万 3,089 円、歳出総額 52 億 4,797 万 3,108 円、差引き 2 億 7,997 万 9,981 円となりました。

議案第 6 号は、令和 4 年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてでありまして、収益的収支における事業収益は 15 億 1,988 万 6,937 円、事業費用は 13 億 2,502 万 3,807 円となり、当年度純利益は 1 億 9,486 万 3,130 円となりました。

資本的収支については、収入 6,310 万 4,000 円に対し、支出は 2 億 2,247 万 5,148 円となり、収支不足額 1 億 5,937 万 1,148 円は、建設改良積立金等で補填いたしました。

決算の認定と併せて剰余金の処分についてであります。当年度末未処分利益剰余金 3 億 4,094 万 9,108 円について、2,806 万 3,130 円を減債積立金として、1 億 6,680 万円を建設改良積立金として、1 億 4,608 万 5,978 円を資本金として処分するものであります。

議案第 7 号は、令和 4 年度旭市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてでありまして、収益的収支における事業収益は 5 億 8,435 万 2,493 円、事業費用は 5 億 1,109 万 5,594 円となり、当年度純利益は 7,325 万 6,899 円となりました。

資本的収支については、収入 1 億 9,518 万 4,600 円に対し、支出は 2 億 9,283 万 9,349 円となり、収支不足額 9,765 万 4,749 円は、減債積立金等で補填いたしました。

決算の認定と併せて剰余金の処分についてであります。当年度末未処分利益剰余金 1 億 2,545 万 8,254 円について、1,836 万 4,105 円を減債積立金として、3,383 万 7,250 円を資本金

として処分するものであります。

議案第 8 号は、令和 4 年度旭市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてでありまして、収益的収支における事業収益は 8,113 万 3,304 円、事業費用は 7,035 万 81 円となり、当年度純利益は 1,078 万 3,223 円となりました。

資本的収支については、収入 2,680 万 5,000 円に対し、支出は 3,442 万 7,522 円となり、収支不足額 762 万 2,522 円は、建設改良積立金等で補填いたしました。

決算の認定と併せて剰余金の処分についてであります。当年度末未処分利益剰余金 2,354 万 3,632 円について、100 万円を減債積立金として、413 万 7,887 円を建設改良積立金として、762 万 2,522 円を資本金として処分するものであります。

議案第 9 号は、令和 5 年度旭市一般会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出にそれぞれ 9 億 8,400 万円を追加し、予算の総額を 322 億 300 万円とするものであります。

議案第 10 号は、令和 5 年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出それぞれ 1,475 万 4,000 円を追加し、予算の総額を 56 億 1,775 万 4,000 円とするものであります。

議案第 11 号は、旭市印鑑条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 12 号は、旭市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 13 号は、旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第 14 号は、専決処分の承認についてでありまして、新型コロナウイルスワクチンの令和 5 年度秋開始接種に係る経費について専決処分を行ったため、その承認を求めるものであります。

また、報告が第 1 号から第 8 号までの 8 件であります。

次に、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

新型コロナウイルスワクチン接種は、9 月 20 日から令和 6 年 3 月末までの期間で、初回接種を終了している 5 歳以上の全ての方を対象とした秋開始接種が始まります。

海上庁舎にて実施する集団接種を9月20日から開始するとともに、個別接種については、市内10か所の協力医療機関にて、9月22日から順次実施してまいります。

なお、5月から実施した春開始接種の接種率は、8月25日現在、65歳以上の接種対象者1万8,972人に対して、58.3%となっております。

次に、各種支援について申し上げます。

住民税非課税世帯等物価高騰対策給付金については、原油価格・物価高騰等による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等を対象に、1世帯当たり3万円を給付するもので、8月末日現在、支給件数は5,277件で、1億5,831万円を給付いたしました。

子育て世帯生活支援特別給付金については、食費等の物価高騰に直面し、特に影響を受けるひとり親世帯とひとり親以外の低所得の子育て世帯を対象に、児童1人当たり5万円を給付するもので、8月末日現在、支給件数は1,283件で、6,415万円を給付いたしました。

また、就学前児童応援臨時給付金については、市内在住の小学校就学前児童を養育する世帯を対象に、児童1人当たり3万円を給付するもので、9月末の初回給付に向けた事務を進めているところであります。

千葉県子どもの成長応援臨時給付金については、将来を担う子どもたちの豊かな成長につながる機会が得られるよう、市内に在住する小・中学生を養育する主たる生計維持者に対し、子ども1人当たり1万円を給付するもので、8月末日現在、支給件数は2,873件で、4,213万円を給付いたしました。

いずれの給付金とも、支給漏れのないよう引き続き制度の周知に努めてまいります。

次に、8月21日に発生した漏水事故について報告いたします。

漏水は、横根地先の口径300ミリの水道管に設置している消火栓の破損によるものであります。緊急に断水による復旧工事を行う必要がありましたが、漏水量から判断し、影響の範囲が広範囲に及ぶことや夕方の水需要が多くなる時間帯であることから、一時的な対策を講じた上で、午後10時から復旧工事を行いました。

また、給水車2台を旧飯岡支所に配備し、住民対応に当たったところであります。

翌22日の午前3時には、修繕及び水道管の洗浄作業を完了し、給水を再開することができました。

給水再開までの間、大変ご迷惑をおかけしましたが、市民の皆様のご協力により、早期に復旧できましたことに感謝申し上げます。

今後も、水道設備の計画的な更新により、漏水事故リスクの軽減に努めてまいります。

次に、この機会に市政の近況についてご報告いたします。

初めに、私のまちづくり方針の一つであります対話による開かれた市政について申し上げます。

幅広い世代の意見を取り入れ、豊かな旭を次世代へつなぐための取り組みとして「市民と市長との対話集会」の本年度第2弾「移住者編」を8月26日に開催いたしました。対話を通じ、旭市の魅力やまちづくりについて率直な意見や感想を聴くことができました。

また、市の主要事業や財政状況などについて各区の役員方に説明し直接話し合うための地域意見交換会は、10月に4年ぶりの開催を予定しております。

私としましては、対話集会や地域意見交換会においてのご意見やご提案を今後の市政に反映してまいりたいと考えております。

次に、農業について申し上げます。

本市においては、需要に応じた米作りの実現に向けて、主食用米から飼料用米への転換を推進しており、8月10日現在の飼料用米作付面積は、昨年と比較して約30ヘクタール増加の783.9ヘクタールとなりました。

引き続き、国や県と連携して転換面積の拡大を進め、生産者の経営安定に努めてまいります。

産業まつりについては、11月12日、旭文化の杜公園を会場として4年ぶりに開催いたします。市内外から大勢の方にご来場いただき、秋の一日を楽しんでいただくとともに、農畜水産物、商工業製品を中心とした地元特産物の販売やPR活動など、大いににぎわうことを期待しております。

次に、観光振興について申し上げます。

矢指ヶ浦海水浴場については7月15日から8月20日まで、市営海浜プールについては7月21日から8月31日まで開設いたしました。暑い日が続く中、大勢の人でにぎわい、事故もなく無事終了することができました。

サマーフェスタ in 矢指ヶ浦については、7月23日に開催され、青空の下、地元の小学生や海水浴客が地引き網体験などを楽しんでいました。

旭市いいおかYOU・遊フェスティバルについては、7月29日、30日に開催され、多くの協賛をいただき、4年ぶりとなる海浜花火大会を実施することができました。また、ビーチバレーボール大会や宝探しも行われ、飯岡海岸が大いににぎわいました。

旭市七夕市民まつりについては、8月6日、7日に開催され、みこし、おはやし、踊りのパレードやステージショー、工夫を凝らした七夕飾りや露店での食べ歩きなど、訪れた多くの

方々には旭の夏を満喫していただいたものと思っております。

4年ぶりの制限のない夏のイベントは、いずれも想定を超える入り込みとなり、大変うれしく思いますとともに、各イベント実行委員会、観光物産協会をはじめ、ご協力いただいた関係機関の皆様にご心から感謝を申し上げます。

次に、交流事業について申し上げます。

幽学の里で米づくり交流事業については、7月1日に大原幽学先生ゆかりの水田で生き物調査を実施いたしました。当日は、東京都や県内東葛地域などから21家族82名の参加があり、子どもたちはふだんあまり目にすることのない田んぼの昆虫やオタマジャクシを観察するなど、都市住民と交流することができました。

次に、母子保健事業について申し上げます。

近年、食物アレルギーやアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患を持つ児童・生徒が全国的に増加していることから、本市と千葉大学医学部附属病院において、アレルギーマーチ予防研究に関する連携協定を締結する予定であります。今後、アレルギーの発症を抑える研究を医師会や旭中央病院などの医療機関に協力をいただきながら行ってまいります。

次に、社会福祉について申し上げます。

敬老大会につきましては、4年ぶりに保育園・幼稚園の児童や文化協会等の皆様のご協力をいただき、今年18日の敬老の日に、東総文化会館、海上公民館、いいおかユートピアセンターの3施設を会場として開催いたします。

次に、公立保育所の再編について申し上げます。

中央第二保育所とゆたか保育所の統合については、設計業務が完了したことから、建設工事のための補正予算を本定例会に提案いたしました。

また、8月9日、10日には、日の出保育所ととみうら保育所の保護者を対象とした説明会を開催し、保育所再編の計画等について説明いたしました。

今後も、保護者や地域の方のご意見を伺いながら、事業の円滑な推進に努めてまいります。

次に、学校教育について申し上げます。

小・中学校の再編については、干潟地域の各小学校に地域検討会議を設置し、各地区の区長、PTA役員及び保護者などから再編に向けての意見や要望について伺っているところであります。海上地域の各小学校では、保護者向けの説明会を開催するとともに、アンケートも行ったところであります。

今後も、地域の皆様にご理解いただけますよう努めてまいります。

次に、義務教育施設の整備について申し上げます。

令和4年度からの繰越事業であります中央小学校特別教室棟の大規模改造工事については、今月末の完了予定であります。

今後も、安全、快適な教育環境の充実に努めてまいります。

次に、生涯学習について申し上げます。

青少年健全育成活動については、海上キャンプ場夏の宿泊体験として、7月15日から1泊2日で実施いたしました。市内児童36名と青少年相談員が参加し、野外活動やテントでの宿泊体験を通して、児童の自主性や協調性を高めることができました。

今後は、秋の宿泊体験を10月7日から1泊2日で実施する予定であります。

次に、文化振興について申し上げます。

あさひのまつりについては、4年ぶりの開催となるもので、9月24日に東総文化会館で開催いたします。本年は7団体、161名が参加する予定となっております。

大原幽学記念館事業については、椿海の干拓事業が完了してから今年で350年の節目の年となることから、干拓の歴史を伝える特別展として、「椿海干拓350周年記念 干潟八万石物語」を11月25日から来年6月16日まで開催する予定であります。

次に、スポーツ振興について申し上げます。

ドイツ、デュッセルドルフ市卓球チームを迎えた日独交流事業については、7月26日から31日までの6日間行われました。市内外の選手との練習やデュッセルドルフ市の学校とオンライン交流を行っている第二中学校への訪問、市内観光など様々な交流が行われました。

パラ卓球ナショナルチーム旭合宿については、8月3日から6日までの4日間、パラ卓球強化指定選手8名を含む車椅子選手14名、立位選手19名が参加し、総合体育館で一般公開により実施されました。

合宿期間中、市内中学校卓球部などの生徒及び障害のある方が参加した交流練習が行われました。

また、ナショナルチーム監督による技術解説などが行われ、パラスポーツの普及促進や共生社会への理解が深められました。

日本一身近な海づくり事業、イベント名「ぼるぼる」については、9月17日に本年度第2回目の開催を予定しております。今回は、夕方の時間帯にビーチクリーン、ビーチヨガ、ビーチダンスを実施いたします。

本事業を通して、市内外を問わず多くの方が本市の海岸に集い、海の大切さと地域の魅力を

再発見していただくことを期待しております。

あさひスポーツフェスティバルについては、10月22日に複数のスポーツ施設で、誰でも自由に参加できる様々な体験型スポーツイベントを予定しております。市民の皆様には、本事業を通して、自ら進んでスポーツに親しみ、健康増進に取り組んでいただくことを期待しております。

次に、銚子連絡道路について申し上げます。

千葉県により進められている銚子連絡道路の整備については、2期区間、横芝光町から匝瑳市間までの約5キロメートルについて、令和5年度の供用開始に向け全面的に工事が進められております。

また、令和4年度に事業化された匝瑳市から旭市間までの約13キロメートルについても、測量や地質調査を行うとともに道路設計を進め、関係機関との協議が進められると伺っております。

次に、市道の整備について申し上げます。

飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業については、鉄道横断工事が順調に進捗しており、今後、鉄道横断部前後の道路整備を進めてまいります。

次に、交通安全について申し上げます。

以前より要望しておりました生涯活躍のまち・イオンタウン旭北側の交差点については、安全対策として信号機が設置されました。

また、交通安全施設整備事業については、市道の区画線、防護柵及び道路反射鏡などの安全施設の更新及び修繕を継続的に実施しているところであります。

今後も、通学路合同点検や道路パトロールにより状況を把握し、安全施設の整備に努めてまいります。

次に、自然環境の保全について申し上げます。

夏期観光シーズンのタイミングに合わせた海岸清掃については、7月2日に実施しました。海岸沿線27地区のほか、ボランティア団体等から合わせて1,230名の参加があり、集められたごみの総重量は5,870キログラムとなり、海岸の美しい景観が保たれたところであります。

秋のゴミゼロ運動については、5月に実施した春のゴミゼロ運動同様、各区や自治会の皆様にご協力をいただき、市内全域で一斉に10月1日に実施する予定であります。

引き続き、市民の皆様のご協力をいただきながら、きれいな旭をつくる会を中心として、地域ぐるみで生活環境の保全及び美化を推進してまいります。

次に、消防・防災力の強化について申し上げます。

海上・飯岡統合消防分署庁舎建設工事については、設計業務が完了したところであります。

今後は、令和6年度中の業務開始を目指し、順次必要な手続きを進めてまいります。

旭市総合防災訓練については、10月15日に旭文化の杜公園をメイン会場として、4年ぶりに開催いたします。避難訓練や救助訓練を通じ防災意識を高め、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

次に、生涯活躍のまち形成事業について申し上げます。

本事業においては、7月19日に計画地内の特別養護老人ホーム建設工事に先立ち、事業者主催による起工式が執り行われ、工事期間中の安全、建物の無事竣工が祈願されたところであります。

施設は、鉄骨造り地上2階建てで、建築面積は約1,900平方メートル、延べ床面積は約3,100平方メートルで、定員80名、令和6年度中の供用開始を予定しております。

以上、このたび提案いたしました案件の趣旨をご説明し、併せて市政の近況について申し上げます。

詳しくは事務担当者から説明し、また、質問に応じてお答えいたしますので、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

○議長（木内欽市） 提案理由の説明並びに政務報告は終わりました。

◎日程第8 議案の補足説明及び報告の説明

○議長（木内欽市） 日程第8、議案の補足説明及び報告の説明。

初めに、決算議案について説明を求めます。

議案第1号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 山崎剛成 登壇）

○財政課長（山崎剛成） 議案第1号、令和4年度旭市一般会計決算の承認について補足説明を申し上げます。

初めに、決算の概要について申し上げますので、お手元にお配りしております令和4年度旭市一般会計歳入歳出決算に関する説明資料をご覧いただきたいと思っております。こちらの資料になります。別冊でございます。

それでは、資料の1ページをお願いいたします。

1の決算規模です。

一番下の表をご覧ください。

令和4年度一般会計の決算額は、歳入が324億7,712万4,000円で、前年度と比較してマイナス43億6,549万2,000円、11.8%の減、歳出が310億5,000万1,000円で、前年度と比較してマイナス37億3,813万4,000円、10.7%の減となり、翌年度へ繰り越すべき財源9,509万2,000円を差し引いた実質収支額は13億3,203万1,000円となりました。

次に、2ページをお願いいたします。

2、歳入の決算額です。

第2-1表は、歳入の構成比の推移を表したもので、グラフの一番下になりますが、令和4年度は、割合が一番多いものは地方交付税で28.3%、2番目は市税で24.2%となっております。

続いて、3ページです。

第2-2表は、歳入の主な4項目について決算額の推移を表したものです。

ページの一番上、歳入決算額の主な項目をご覧ください。

令和4年度は、前年度と比べて市税は3.3%の増、地方交付税は0.5%の減、国県支出金は18.3%の減、市債については10.6%の減となっております。それぞれの額は下の表に記載のとおりです。

次に、4ページをお願いいたします。

3、歳出の決算額ですが、第3-1表は、目的別歳出の決算額の推移を表したものです。大きい順に申し上げますと、民生費、総務費、衛生費、公債費、教育費、土木費の順となっております。

次に、5ページに移りまして、第3-2表は、性質別歳出の構成比です。

人件費、扶助費、公債費を合わせた義務的経費の割合は47.6%で、前年度と比べて2.6ポイント上昇しており、これに物件費、補助費等、維持補修費を加えた経常的経費の割合は79.4%で、前年度と比べて5.1ポイント上昇しております。

また、投資的経費の割合は9.4%で1.2ポイント低下しており、その主な要因は、生涯活躍のまち形成事業や旭中央病院アクセス道整備事業の減などによるものでございます。

次に、6ページをお願いいたします。

4の財政の弾力性です。

第4表は、経常収支比率の推移を表したもので、令和4年度の経常収支比率は92.2%で、前年度の91.2%と比べて1ポイント上昇しております。

次に、7ページに移りまして、5は将来の財政負担です。

上のグラフ第5-1表は、健全化判断比率の一つ、実質公債費比率の推移です。令和4年度の決算では9.5%となり、前年度8.9%と比べて0.6ポイント上昇しております。

なお、グラフにも表示しておりますが、早期健全化基準は25%、財政再生基準は35%となっており、旭市の数値はこれらの基準を大きく下回っております。

下の第5-2表は、これも健全化判断比率の一つであります。将来負担比率の推移です。

これは、一般会計をはじめ、公営企業や一部事務組合、第三セクター等も含めて、旭市が将来負担する実質的な負債の標準財政規模に対する比率であります。

令和4年度についても、充当可能財源等が将来の負担額を上回ったため、比率は算出されませんでした。

なお、健全化判断比率につきましては、後ほど報告第2号で説明いたします。

次に、8ページをお願いいたします。

第5-3表は、市債現在高・借入額・償還額の推移です。

下の表をご覧ください。

市債の現在高は、令和4年度末で284億5,467万7,000円となり、前年度と比べて12億6,415万1,000円減少しております。

次に、9ページに移りまして、第5-4表は、市債現在高と交付税算入見込額です。

下の表をご覧ください。

一般会計の令和4年度末の市債現在高284億5,467万7,000円に対して、交付税算入見込額は249億2,262万3,000円で、算入割合は87.6%となっております。

なお、全会計の令和4年度末の市債現在高は499億948万3,000円で、これに対する交付税算入見込額は312億228万円となりまして、算入割合は62.5%となっております。

次に、10ページをお願いいたします。

6は、基金の現在高です。

第6表は、一般会計の基金現在高の推移を表したものです。

下の表をご覧ください。

令和4年度末における一般会計の基金の総額は160億5,102万2,000円で、前年度と比べて1億3,129万5,000円増加しております。増の主な要因は、減債基金の増によるものでござい

ます。

なお、特別会計を含めた全基金の総額は、下の表にございますように 178 億 7,594 万 6,000 円となっております。

以下、11 ページから 18 ページまでは、歳入歳出決算総括表など決算に係るデータを表示してございます。

続いて、19 ページをお願いいたします。

こちらは、地方消費税交付金が充てられる社会保障施策に要する経費についての表です。消費税率が 8%、10%と段階的に引き上げられたことに伴いまして、地方消費税交付金の増収分については、全て社会保障施策に要する経費に充てるものとされているため、その充当状況を示したものです。

次のページをお願いいたします。

主な施策に関する事項になります。次の 20 ページ以降、令和 4 年度決算における主な施策の事業概要について、決算書の掲載ページ順に掲載しております。

資料の最後、66 ページをお願いいたします。

こちらには、令和 4 年度決算経済対策事業一覧として、本市が令和 4 年度に新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響に対し実施しました様々な経済対策事業をまとめた資料を追加しております。

以上で、資料による説明は終わります。

続いて、決算書により説明いたしますので、お手元に決算書をご用意いただきますようお願いいたします。

○議長（木内欽市） 議案の補足説明は途中ですが、11 時まで休憩いたします。

休憩 午前 10 時 49 分

再開 午前 11 時 0 分

○議長（木内欽市） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き、議案第 1 号の補足説明を求めます。

○財政課長（山崎剛成） それでは、続きまして、決算書によりまして説明をさせていただきます。決算書のほう、よろしく申し上げます。

初めに、歳入になります。

16 ページをお願いいたします。

表の形式が左右の見開きとなっております、これからの説明でページ番号をお示しする際は左ページの番号で申し上げることもございますが、説明する内容は右ページを中心にご覧いただきたいと思っております。

なお、各款ごとの令和3年度との差引き増減は、先ほど説明いたしました決算に関する説明資料の12ページに記載してございます。

まず、1款の市税です。

右ページになります。収入済額は78億5,345万2,206円で、前年度比3.3%の増となっております。

次に、18ページをお願いいたします。

2款地方譲与税は、収入済額3億3,924万円で、前年度比0.8%の減となっております。

3款利子割交付金は、収入済額481万3,000円で、前年度比5.7%の減となっております。

4款配当割交付金は、収入済額4,857万円で、前年度比7.7%の減となっております。

5款株式等譲渡所得割交付金は、収入済額3,872万4,000円で、前年度比41.5%の大幅な減となっております。

20ページをお願いいたします。

6款法人事業税交付金は、収入済額1億2,547万8,000円で、前年度比36.3%の大幅な増となっております。

7款地方消費税交付金は、収入済額16億287万2,000円で、前年度比2.0%の増となっております。

8款環境性能割交付金は、収入済額5,373万8,123円で、前年度比21.7%の増となっております。

9款地方特例交付金は、収入済額5,831万7,000円で前年度比51.1%の大幅な減となっております。

減の主な要因は、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の減によるもので、令和3年度は中小企業等に対する固定資産税の減免を補填する分として交付されましたが、令和4年度には交付がなかったため、減となったものです。

次に、22ページをお願いいたします。

10款地方交付税は、収入済額91億8,403万2,000円で、前年度比0.5%の減となっております。

ます。内訳といたしましては、右側の備考欄の1、普通交付税は81億4,750万円で、前年度比0.9%の減となっております。備考欄の2、特別交付税は10億3,653万2,000円で、前年度比3.4%の増となっております。

11款交通安全対策特別交付金は、収入済額889万9,000円で、前年度比7.3%の減となっております。

12款分担金及び負担金は、収入済額3億2,095万9,723円で、前年度比38.2%の大幅な増となっております。増の主な要因は、令和3年度は学校給食費の免除がありましたが、令和4年度には免除がなかったため、学校給食費負担金が増したことなどがございます。

24ページをお願いいたします。

13款使用料及び手数料は、収入済額3億3,764万3,971円で、前年度比0.1%の増となっております。

次に、28ページをお願いいたします。

14款国庫支出金は、収入済額47億1,341万7,565円で、前年度比20.6%の減となっております。減の主な要因は、令和3年度に実施した児童1人当たり10万円の支給に係る補助金、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金の減によるものです。

32ページをお願いいたします。下のほうになります。

15款県支出金は、収入済額17億1,846万470円で、前年度比11.3%の減となっております。減の主な要因は、令和元年度の台風被害に係る農業災害対策支援事業費補助金の減によるものです。

続いて、38ページをお願いいたします。一番下になります。

16款財産収入は、収入済額8,688万1,857円で、前年度比4.9%の増となっております。

次に、42ページをお願いいたします。

17款寄附金は、収入済額1億1,918万4,403円で、前年度比12.3%の増となっております。

18款繰入金は、収入済額9億3,595万9,161円で、前年度比68.9%の大幅な減となっております。減の主な要因は、令和3年度は庁舎整備基金の廃止に伴うその残額を公共施設等整備基金へ移し替えるための繰入れや、災害復興基金のうち「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金の津波分を国へ返還するための繰入れなどがあったため金額が大きかったことにより、令和4年度では減したものとなっております。

44ページをお願いいたします。

19款繰越金は、20億5,448万1,170円で、前年度比31.6%の大幅な減となっております。

20 款諸収入は、収入済額 10 億 9,140 万 700 円で、前年度比 2.4%の増となっております。

46 ページをお願いいたします。下のほうになります。

21 款市債は、収入済額 17 億 8,060 万円で、前年度比 10.6%の減となっております。減の主な要因は、旧庁舎解体に係る新庁舎建設事業や旭中央病院アクセス道整備事業の完了に伴う合併特例債の減などによるものです。

以上で、歳入の説明を終わります。

続いて、歳出について款ごとに主な事業をご説明いたします。

なお、歳入と同様、各款ごとの令和 3 年度との差引き増減は、決算に関する説明資料の 14 ページに記載してございます。

それでは、決算書の 52 ページをお願いいたします。

1 款議会費は、右ページになります、支出済額 2 億 1,355 万 4,500 円で、前年度比 8.7%の増となっております。

次に、54 ページをお願いいたします。中段になります。

2 款総務費は、支出済額 50 億 6,587 万 5,887 円で、前年度比 34.6%の大幅な減となっております。右側の翌年度繰越額は、繰越明許費が 4,963 万 7,000 円で、繰越明許費に係る事業は、本庁舎の駐車場整備に係る庁舎管理費などの 3 事業でございます。

少し飛んで、74 ページをお願いいたします。

1 項 7 目企画費の備考欄 4、ふるさと応援寄附推進事業 5,654 万 5,026 円は、ふるさと納税の返礼品などに係るものです。

次のページ、76 ページをお願いいたします。

備考欄 6、生涯活躍のまち形成事業は、次のページの備考欄 7 の事故繰越しの分と合わせて合計で 1 億 4,669 万 3,948 円となっております、多世代交流施設おひさまテラスの指定管理などに係るものです。

同じく 78 ページになります。

備考欄 8、シティプロモーション推進事業 1,560 万 2,903 円は、ロケツーリズムの推進などに係るものでございます。

続きまして、84 ページをお願いいたします。一番下になります。

10 目地域振興費の備考欄 5、移住・定住促進事業 6,603 万 1,620 円は、定住促進及び若者世帯住宅取得の奨励金などに係るものです。

続きまして、92 ページをお願いいたします。

11 目諸費の備考欄 6、物価高騰対策臨時特別給付金給付事業 4 億 5,694 万 9,750 円は、物価高騰の影響を受けている家計への支援として、1 世帯につき 1 万円と世帯主以外の世帯員 1 人につき 5,000 円の給付金の支給を行ったものでございます。

なお、総務費に係る主要事業は、先ほどの決算に関する説明資料の 20 ページから 24 ページに記載してありますので、後ほどご覧いただきたいと思えます。

次に、108 ページをお願いいたします。下のほうになります。

3 款民生費は、支出済額 96 億 8,538 万 9,389 円で、前年度比 8.0%の減となっております。

116 ページをお願いいたします。

1 項 1 目社会福祉総務費の備考欄 12、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業と次のページの備考欄 13、こちら繰越明許の分と合わせて合計 1 億 4,164 万 8,675 円は、国の新型コロナウイルス対策として、住民税非課税世帯や家計急変世帯に対し、1 世帯当たり 10 万円の給付金の支給を行ったものです。

118 ページをお願いいたします。下のほうになります。

備考欄 14、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業 2 億 8,015 万 8,632 円は、光熱水費や食料品等の価格高騰の影響を大きく受ける住民税非課税世帯や家計急変世帯に対し、1 世帯当たり 5 万円の給付金の支給を行ったものです。

少し飛んで、148 ページをお願いいたします。下のほうになります。

3 項 1 目児童福祉総務費の備考欄 20、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 6,843 万 4,051 円は、児童扶養手当受給世帯や低所得の子育て世帯等に対し、児童 1 人当たり 5 万円の給付金の支給を行ったものです。

次に、160 ページをお願いいたします。

6 目保育所費の備考欄 9、保育所統合整備事業 133 万 6,500 円は、中央第二保育所とゆたか保育所を統合し、青年の家跡地に新たに保育所を整備するための設計などに係るものです。

なお、民生費に係る主要事業は、決算に関する説明資料の 25 ページから 33 ページに記載しております。

次に、162 ページをお願いいたします。下のほうになります。

4 款衛生費は、支出済額 44 億 8,986 万 7,818 円で、前年度比 1.9%の増となっております。翌年度繰越額は、繰越明許費の 1 億 769 万 8,000 円で、新型コロナウイルスワクチン接種事業となります。

少し飛んで、176 ページをお願いいたします。

1 項 2 目予防費の備考欄 7、新型コロナウイルスワクチン接種事業はその下になりますが、備考欄 8 の繰越明許分と合わせて合計 5 億 865 万 9,601 円となっております。

178 ページをお願いいたします。

備考欄 9、新型コロナウイルス感染症対応空床確保支援事業 1 億円は、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行っている旭中央病院に対し、県の病床確保支援事業に本市独自の上乗せを行い、支援金を給付したものでございます。

184 ページをお願いいたします。

3 目母子保健費、備考欄 7、出産・子育て応援給付金給付事業 4,194 万 5,097 円は、妊娠期から出産・子育てまでを一貫して支援する国の交付金の創設に伴い、出産や子育てに係る経済的負担を軽減するため、出産・子育て応援給付金の支給を行ったものです。

続きまして、196 ページをお願いいたします。

5 目公害対策費の備考欄 4、住宅用省エネルギー設備設置助成事業 610 万 3,000 円は、地球温暖化対策を推進するため、住宅用省エネルギー設備等を導入する個人に対し、その経費の一部を補助するものであります。

なお、衛生費に係る主要事業は、決算に関する説明資料の 34 ページから 38 ページに記載しております。

次に、198 ページをお願いいたします。中段になります。

5 款労働費は、支出済額 291 万 6,457 円で、前年度比 202.8%の大幅な増となっております。これは職業相談室の移転に伴い、大幅に増額となったものであります。

次に、200 ページをお願いいたします。

6 款農林水産業費は、支出済額 9 億 6,633 万 3,353 円で、前年度比 18.2%の減となっております。翌年度繰越額は、繰越明許費が 3,857 万 8,000 円となっております。繰越明許費に係る事業は、農業基盤整備事業と農業水利施設改修事業の 2 事業でございます。

206 ページをお願いいたします。

1 項 3 目農業振興費の備考欄 2、新規就農総合支援事業 1,743 万 7,331 円は、新たな農業の担い手の確保と育成を図るための新規就農者への各種支援などに係るものでございます。

備考欄 5、水田農業構造改革推進事業 1 億 4,527 万 8,710 円は、水田農業経営の安定と発展のため、主食用米から飼料用米などの戦略作物栽培への転換を支援する補助金となっております。

210 ページをお願いいたします。

備考欄 14、農水産業物価高騰対策支援金給付事業 1 億 3,613 万 7,266 円は、物価高騰の影響を受ける市内の農水産業者に対し、1 件当たり 10 万円と 3 万円の支援金の給付を行ったものです。

216 ページをお願いいたします。

5 目農地費、備考欄 9、多面的機能発揮促進事業 8,026 万 7,974 円は、自然環境の保全や良好な景観形成を図るため、地域の共同活動により農地等の保全管理を行う活動組織に対する交付金などに係るものです。

なお、農林水産業費に係る主要事業は、決算に関する説明資料の 39 ページから 44 ページに記載しております。

次に、224 ページをお願いいたします。

7 款商工費は、支出済額 6 億 4,878 万 8,813 円で、前年度比 42.0%の大幅な増となっております。

226 ページをお願いいたします。

1 項 2 目商工振興費、備考欄 4、商業活性化推進事業 8,285 万 449 円は、プレミアム付商品券発行や空き店舗活用への補助金などに係るものです。

228 ページをお願いいたします。下のほうになります。

備考欄 9、中小企業等物価高騰対策支援金給付事業 2 億 3,005 万 4,049 円は、物価高騰の影響を受ける市内の中小企業等に対し、1 件当たり 10 万円の支援金の給付を行ったものです。

なお、商工費に係る主要事業は、決算に関する説明資料の 45 ページから 47 ページに記載してあります。

次に、236 ページをお願いいたします。中段になります。

8 款土木費は、支出済額 26 億 7,205 万 6,408 円で、前年度比 6.8%の減となっております。翌年度繰越額は、繰越明許費が 6 億 2,458 万 8,000 円、事故繰越しが 1,569 万 2,331 円となっております。繰越明許費に係る事業は、飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業や蛇園南地区排水路整備事業などの 6 事業で、事故繰越しに係る事業は、道路新設改良事業と震災復興・津波避難道路整備事業の 2 事業でございます。

244 ページをお願いいたします。一番下になります。

2 項 3 目道路新設改良費の備考欄 6、飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業は、246 ページの備考欄 7、繰越明許の分と合わせまして合計 5 億 666 万 9,520 円となっております。

同じページの中段になります。

備考欄 10、震災復興・津波避難道路整備事業は、その下の備考欄 11、繰越明許の分と合わせて合計 1 億 5,070 万 1,968 円となっております。

248 ページをお願いいたします。下のほうになります。

3 項 1 目都市計画総務費の備考欄 2、都市計画総務事務費 1,839 万 1,914 円は、都市計画区域の見直しなどに係るものでございます。

少し飛んで、260 ページをお願いいたします。

4 項 1 目住宅管理費の備考欄 7、住宅リフォーム補助事業 1,862 万円は、住宅リフォーム工事に要した費用に対し、上限 20 万円を支給するものでございます。

なお、土木費に係る主要事業は、決算に関する説明資料の 48 ページから 55 ページに記載しております。

同じページの下のほうになります。

9 款消防費は、支出済額 10 億 7,317 万 1,791 円、前年度比 12.7%の減となっております。

264 ページをお願いいたします。

1 項 1 目常備消防費の備考欄 3、消防庁舎整備事業 778 万 8,000 円は、海上・飯岡の統合消防分署庁舎建設の設計委託料です。

なお、消防費に係る主要事業は、決算に関する説明資料の 56 ページに記載しております。

次に、272 ページをお願いいたします。中段になります。

10 款教育費は、支出済額 29 億 9,311 万 6,743 円、前年度比 4.0%の増となっております。翌年度繰越額は、繰越明許費の 8,372 万円で、繰越明許費に係る事業は、小学校大規模改造事業で、中央小学校の特別教室棟に係る分になります。

続きまして、280 ページをお願いいたします。

1 項 2 目事務局費の備考欄 11、教育の情報化推進事業 1 億 291 万 5,107 円は、ICT（情報通信技術）を活用し、児童・生徒の学力向上や教職員の業務効率化を図るための ICT 支援員による小・中学校への支援やバージョンアップした校務支援システムの導入などに係るものです。

286 ページをお願いいたします。

2 項 1 目学校管理費の備考欄 3、小学校施設改修事業、その下になりますが、備考欄 4 の繰越明許分と合わせた合計 1 億 3,912 万 9,346 円は、三川小学校屋内運動場改修工事などに係るものです。

296 ページをお願いいたします。

3 項 1 目学校管理費の備考欄 5、中学校大規模改造事業（繰越明許費）1 億 9,446 万 200 円は、第二中学校特別教室棟の大規模改造工事を行ったものでございます。

少し飛びまして、330 ページをお願いいたします。下のほうになります。

4 項 10 目大原幽学記念館費の備考欄 4、大原幽学遺跡史跡公園管理費 1,313 万 5,076 円は、防災設備更新工事の実施設計などに係るものでございます。

334 ページをお願いいたします。下のほうになります。

13 目社会教育施設再編費の備考欄 1、社会教育施設再編事業 1 億 7,839 万 1,400 円は、旭市青年の家及び旧旭市民会館の解体撤去工事などに係るものでございます。

346 ページをお願いいたします。

5 項 2 目体育施設費の備考欄 7、サッカー場整備事業とその下、備考欄 8 の繰越明許分と合わせて合計 2 億 331 万 6,930 円は、旧飯岡中学校跡地のサッカー場整備に係るものです。

なお、教育費に係る主要事業は、決算に関する説明資料の 57 ページから 65 ページに記載しております。

次に、352 ページをお願いいたします。下のほうになります。

11 款災害復旧費は、令和 4 年度の支出はございません。

次に 354 ページをお願いいたします。こちらも下のほうになります。

12 款公債費は、支出済額 31 億 3,791 万 9,392 円で、前年度比 2.7%の減となっております。

356 ページをお願いいたします。

13 款諸支出金は、支出済額 1 億 101 万 1,000 円で、前年度比 27.1%の増となっております。

以上で、議案第 1 号、令和 4 年度旭市一般会計決算の認定についての補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 財政課長の補足説明は終わりました。

議案第 2 号について、企画政策課長、登壇してください。

（企画政策課長 柴 栄男 登壇）

○企画政策課長（柴 栄男） 議案第 2 号、令和 4 年度旭市病院事業債管理特別会計決算の認定について補足説明を申し上げます。

決算書 359 ページをお願いいたします。

歳入歳出予算額 25 億 9,100 万円に対しまして、歳入及び歳出の決算額は 24 億 8,870 万 6,071 円となりました。

歳入歳出決算の内訳につきましては、歳入歳出決算事項別明細書によりご説明申し上げます。

368 ページをお願いいたします。

歳入になります。

1 款 1 項 1 目貸付金元利収入は、収入済額 20 億 3,870 万 6,071 円です。これは、病院事業債の元利償還金分として、地方独立行政法人から本特別会計に納められたものです。

2 款 1 項 1 目病院債は、収入済額 4 億 5,000 万円です。これは旭中央病院が医療器具等の購入のため必要な財源として、市が新たに借り入れたものになります。

372 ページをお願いします。

歳出になります。

1 款 1 項 1 目貸付金は、支出済額 4 億 5,000 万円です。これは法人への貸付金で、市が借り入れた病院事業債をそのまま法人に貸し付けたものになります。

2 款公債費は、支出済額 20 億 3,870 万 6,071 円で、1 項 1 目元金は、支出済額 17 億 3,087 万 9,029 円、2 目利子は、支出済額 3 億 782 万 7,042 円です。これらは借入金の元金及び利子支払費で、歳入で収入された貸付金元利収入をそのまま償還に充てるものです。

374 ページには実質収支に関する調書を掲載してございます。

令和 4 年度末の地方債残高になりますが、こちらは令和 4 年度旭市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算に関する説明資料のほうをお願いいたします。

別冊、こちらになります。

説明資料、表紙をめくっていただいて、2 の病院事業債現在高、表の右下になりますが、182 億 7,092 万 716 円となりました。

以上で、議案第 2 号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 企画政策課長の補足説明は終わりました。

議案第 3 号、議案第 4 号について、保険年金課長、登壇してください。

（保険年金課長 高野 久 登壇）

○保険年金課長（高野 久） 議案第 3 号、令和 4 年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について補足説明を申し上げます。

決算書の説明に入ります前に、令和 4 年度の国民健康保険の世帯数等について申し上げます。令和 4 年度の平均世帯数は 1 万 566 世帯、前年度比 186 世帯、1.7%の減となりました。また、平均被保険者数は 1 万 8,028 人、前年度比 820 人、4.4%の減となりました。

それでは、決算書によりご説明いたします。

375 ページをお願いいたします。

事業勘定の決算になります。歳入決算額は 82 億 7,439 万 685 円で、前年度比 2.6%の減とな

り、歳出決算額は79億2,611万5,240円で、前年度比3.2%の減となりました。

380ページをお願いいたします。

歳入歳出差引残額は3億4,827万5,445円となり、うち1億7,500万円を財政調整基金へ積立てを行い、残額の1億7,327万5,445円を令和5年度へ繰越しするものです。

歳入歳出の主な事項につきましては、事項別明細書によりご説明いたします。

それでは、390ページをお願いいたします。

初めに、歳入についてご説明いたします。

1款国民健康保険税の収入済額は18億9,008万7,770円、前年度比0.4%の増となりました。不納欠損額は1,092万3,621円で、収入未済額は2億1,756万192円でございます。

なお、収納率は還付未済額を除き89.2%、前年度と比較して2.1ポイント上昇いたしました。

392ページをお願いいたします。

5款県支出金は、保険給付費等の交付金として55億5,145万1,638円、前年度比2.7%の減となりました。

7款繰入金は6億3,261万5,689円、前年度比3.8%の減となりました。

減の要因は、394ページをお願いいたします。

上段の2項基金繰入金の財政調整基金繰入金の減によるもので、国保税の収納率が上昇したこと、保険給付費の支出が低く抑えられたことによるものでございます。

なお、一般会計繰入金は、全て法定に基づく繰入れとなっております。

8款繰越金は、令和3年度からの繰越金で、1億5,433万5,893円です。

続いて、9款諸収入は4,587万541円で、主なものは国保税の延滞金などによるものでございます。

続いて、歳出についてご説明いたします。

398ページをお願いいたします。

1款総務費の支出済額は4,257万939円、前年度比2.5%の増となりました。増の要因は、会計年度任用職員に係る報酬や法改正によるシステム改修費の増によるものでございます。

400ページをお願いいたします。

2款保険給付費は54億2,111万412円、前年度比3.4%の減となりました。減の要因は、被保険者数の減少により、保険給付費の総額が減となったものによるものです。

404ページをお願いいたします。

3 款保険事業費納付金は 23 億 5,320 万 110 円、前年度比 2.8%の減となりました。納付金の額は被保険者数や所得水準などを基に県が算定しております。内訳は 1 項 1 目の医療給付費分が 15 億 1,446 万 7,899 円、2 目後期高齢者支援金分が 5 億 6,574 万 4,501 円、3 目介護分が 2 億 7,298 万 7,710 円です。

4 款保健事業費は 8,234 万 854 円です。前年度比 0.8%の増となりました。

408 ページをお願いいたします。

7 款諸支出金は 2,686 万 9,671 円で、前年度比 19.8%の減となりました。減の要因は 1 項 1 目の償還金の減で、国への返還金等が減となったことによるものです。

少し飛びまして、428 ページをお願いいたします。

事業勘定の実質収支に関する調書は、記載のとおりであります。

それでは、381 ページへお戻りください。

施設勘定、滝郷診療所の決算についてご説明いたします。

歳入決算額は 7,543 万 5,555 円で、前年度比 0.3%の減となり、歳出決算額は 6,349 万 9,884 円で、前年度比 3.7%の減となりました。

386 ページをお願いいたします。

歳入歳出差引残額は 1,193 万 5,671 円となり、うち 600 万円を財政調整基金へ積立てを行い、残額の 593 万 5,671 円を令和 5 年度へ繰越しするものです。

歳入歳出の主な事項につきましては、事項別明細書によりご説明いたします。

飛びまして、416 ページをお願いいたします。

初めに、歳入についてご説明いたします。

1 款診療収入の収入済額は 5,523 万 7,873 円、前年度比 3.0%の減となりました。減の要因は、患者数は前年度と比べ増加しましたが、医薬品の供給不足の影響により院外処方が増えたため、1 人当たりの外来収入が減となったことによるものです。

418 ページをお願いいたします。

4 款繰入金は 1,440 万円、前年度比 7.5%の増となりました。増の要因は、財政調整基金繰入金の増によるものです。

5 款繰越金は、令和 3 年度からの繰越金で、485 万 6,733 円となりました。

6 款諸収入は 90 万 1,487 円、前年度比 57.1%の減となりました。減の要因は、新型コロナウイルスワクチン接種業務への従事日数の減少により、医師派遣料が減となったためです。

次に、歳出についてご説明いたします。

422 ページをお願いいたします。

1 款総務費の支出済額は 4,215 万 5,525 円、前年度比 2.6%の増となりました。増の要因は、会計年度任用職員に係る報酬等の増によるものです。

424 ページをお願いいたします。

2 款医業費は 2,134 万 2,897 円、前年度比 14.0%の減となりました。減の要因は、医薬品衛生材料費の減で、診療収入でも説明いたしましたが、一部の医薬品製造業者が製造停止等の処分を受けたことにより、一部の医薬品の購入が難しくなったことによるものです。

また、飛びまして、429 ページをお願いいたします。

施設勘定の実質収支に関する調書は、記載のとおりでございます。

以上で、議案第 3 号、令和 4 年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定についての補足説明を終わります。

続きまして、議案第 4 号、令和 4 年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について補足説明を申し上げます。

○議長（木内欽市） 議案の補足説明は途中ですが、午後 1 時まで休憩いたします。

休憩 午前 11 時 52 分

再開 午後 1 時 0 分

○議長（木内欽市） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き議案第 4 号の補足説明を求めます。

○保険年金課長（高野 久） それでは、引き続き議案第 4 号、令和 4 年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について、補足説明を申し上げます。

決算書の説明に入ります前に、令和 4 年度の後期高齢者医療の被保険者数について申し上げます。令和 4 年度の平均被保険者数は 9,948 人、前年度比 380 人、4.0%の増となりました。

それでは、決算書によりご説明いたします。

431 ページをお願いいたします。

歳入決算額は 7 億 8,134 万 7,797 円で、前年度比 8.7%の増となり、歳出決算額は 7 億 6,694 万 9,746 円で、前年度比 8.4%の増となりました。

436 ページをお願いいたします。

歳入歳出差引残額の1,439万8,051円は、令和5年度へ繰越しするものです。

歳入歳出の主な事項につきましては、事項別明細書によりご説明いたします。

440ページをお願いいたします。

初めに、歳入についてご説明いたします。

1款保険料の収入済額は5億5,557万8,720円、前年度比11.0%の増となりました。増の要因は、被保険者数の増加によるものです。不納欠損額は50万8,000円で、収入未済額は482万7,850円です。

なお、収納率は還付未済額を除き99.0%、前年度と比較して0.2ポイント減少いたしました。

2款繰入金は1億8,556万7,317円、前年度比1.5%の増となりました。増の要因は、保険料軽減措置の対象となる低所得者数の増加によるものです。

3款繰越金は令和3年度からの繰越金で、1,121万9,419円です。

4款諸収入は2,898万2,341円、対前年比16.6%の増となりました。増の要因は、健康診査事業等に係る受託事業収入の増によるものです。

次に、歳出についてご説明いたします。

446ページをお願いいたします。

1款総務費の支出済額は1,648万4,058円、前年度比27.9%の減となりました。減の要因は、令和3年度に実施した庁舎移転に伴うシステムの移設関係業務委託及びコンビニ納付のためのシステム改修の完了に伴う減によるものです。

2款広域連合納付金は7億2,288万9,537円、前年度比9.4%の増となりました。増の要因は、保険料収入が増加したことによるものです。

3款保健事業費は2,672万7,351円、前年度比16.2%の増となりました。増の要因は、被保険者数の増加や通知対象の拡大により受診者が増加したことによるものです。

448ページをお願いいたします。

4款諸支出金84万8,800円は保険料の還付金です。

実質収支に関する調書は、記載のとおりであります。

以上で議案第4号、令和4年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について、補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 保険年金課長の補足説明は終わりました。

議案第5号について、高齢者福祉課長、登壇してください。

(高齢者福祉課長 椎名 隆 登壇)

○高齢者福祉課長(椎名 隆) 議案第5号、令和4年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について、補足説明を申し上げます。

決算書の説明に入ります前に、令和4年度末における介護保険の状況についてご説明いたします。お手元の介護保険事業特別会計歳入歳出決算に関する説明資料をご覧くださいと思います。

1 ページをお願いいたします。

1 の高齢者人口等ですが、この資料は、令和5年3月末の状況を第8期介護保険事業計画及び前年度末と比較したものとなっております。

上から2行目のB欄をご覧ください。

65歳以上の第1号被保険者数は2万209人で、前年度末と比べ34人増加し、5行目の総人口に占める割合、いわゆる高齢化率は32.0%、前年度末と比べ0.3ポイントの増加となりました。要支援・要介護認定者数は2,996人で、前年度末と比べ45人の減。一番下の欄になりますが、第1号被保険者数に占める割合は14.4%で、前年度比0.3ポイントの減となりました。

以下、2は、介護度別認定者数ですが、記載のとおりでございます。後ほどご覧いただきたいと思います。

それでは、ここからは、決算書によりご説明いたします。

決算書451ページをお願いいたします。

歳入決算額は55億2,795万3,089円で、前年度比2.4%の増、歳出決算額は52億4,797万3,108円で、前年度比1.3%の増となり、456ページをお願いします、歳入歳出差引残額は2億7,997万9,981円となりました。

決算内容の主なものにつきましては、事項別明細書によりご説明いたします。

460ページをお願いいたします。

初めに、歳入になります。

1款保険料の収入済額は12億3,555万4,915円で、前年度と比較して0.3%の増となりました。収納率は97.6%で、前年度と比較しまして0.1ポイント上昇しております。また、不納欠損額は680万3,860円、収入未済額は2,350万1,585円となっております。

次に、2款国庫支出金は、収入済額11億5,269万4,678円で、前年度比0.1%の増となりました。

462 ページをお願いいたします。

3 款支払基金交付金は、収入済額 13 億 2,120 万 3,649 円で、前年度比 0.3%の減となりました。

4 款県支出金は、収入済額 7 億 6,792 万 5,857 円で、前年度比 3.4%の増となりました。

464 ページをお願いいたします。

6 款繰入金は 1 項の一般会計からの繰入金でありまして、収入済額 8 億 1,912 万 9,000 円で、前年度比 2.8%の増となりました。

7 款繰越金は、収入済額 2 億 1,775 万 800 円。

次の 8 款諸収入は、収入済額 1,368 万 4,987 円で、主なものは地域支援事業利用収入などがございます。

続きまして、歳出になります。

470 ページをお願いいたします。

1 款総務費の支出済額は 6,213 万 8,111 円、前年度比 5.2%の増となりました。

474 ページをお願いいたします。

2 款保険給付費の支出済額は 47 億 6,121 万 852 円で、前年度比 0.8%の増となりました。増の主な要因は、地域密着型介護サービス給付費の増によるものです。

少し飛びまして、482 ページをお願いいたします。中段となります。

4 款基金積立金は、支出済額 1 億 4,628 万 7,433 円でした。これは、前年度剰余金と利子分を積み立てたもので、令和 4 年度末の介護保険給付費準備基金の残高は 6 億 3,170 万 5,995 円となりました。

5 款地域支援事業費は、支出済額 2 億 495 万 4,543 円、前年度比 19.7%の減となりました。減の主な要因は、自立に向けた取り組みを行う介護予防・日常生活支援総合事業の見直しによるものであります。

少し飛びまして、492 ページをお願いいたします。下段となります。

6 款諸支出金は、支出済額 7,338 万 2,169 円で、主なものは国・県及び一般会計への返還金となります。

496 ページをお願いします。

実質収支に関する調書となります。内容は記載のとおりでございます。

以上で、議案第 5 号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 高齢者福祉課長の補足説明は終わりました。

議案第6号から議案第8号までの3議案について、上下水道課長、登壇してください。

(上下水道課長 多田一徳 登壇)

○上下水道課長(多田一徳) 議案第6号、令和4年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について、補足説明を申し上げます。

決算書は、一般会計決算書とは別冊となっております。

令和4年度旭市公営企業会計決算書のご用意をお願いいたします。3事業が1冊になっております。

初めに、水道事業の概況からご説明申し上げます。

決算書の10ページをお願いいたします。

事業報告書でございます。

(1) 総括事項、5行目になりますが、業務状況でございます。

年度末の給水人口は5万6,663人、給水件数は2万1,349件となりました。普及率は89.8%で、前年度と比較しますと0.3ポイントの増となりました。年間給水量は636万7,104立方メートルで、前年度と比較しますと12万982立方メートルの増となりました。

また、料金収入の基礎となります年間有収水量は578万7,510立方メートルとなり、前年度と比較しますと6万3,978立方メートルの増となりました。有収率は90.9%で、前年度と比較しますと0.7ポイントの減となっております。

続きまして建設状況ですが、建設改良工事として、三川地区、東足洗地区、後草地区、清和甲地区及び鐮木地区に、口径50ミリメートルから150ミリメートルの耐震型配水管を延べ1,542.5メートルを布設替えいたしました。

次の経理状況につきましては、この後の決算状況の中でご説明をさせていただきます。

続きまして、11ページをお願いいたします。

(2)は経営指標に関する事項、(3)は議会議決事項、(5)は職員に関する事項となっております。

恐れ入りますが、前に戻りまして、1ページをお願いいたします。

令和4年度の決算報告書でございます。

この報告書の金額は、消費税込みとなっております。

初めに、(1)収益的収入及び支出について申し上げます。

収入につきましては、第1款水道事業収益の予算額16億6,585万1,000円に対し、決算額16億5,075万9,679円となり、収入率は99.1%となりました。内訳としまして、第1項営業

収益の主なものは水道料金であり、第2項の営業外収益は一般会計補助金などで、決算額はそれぞれ記載のとおりでございます。

支出につきましては、第1款水道事業費用の予算額15億4,624万7,000円に対し、決算額14億4,245万9,783円となり、執行率は93.3%となりました。内訳としまして、第1項営業費用は、受水費、減価償却費、人件費等で、第2項営業外費用は企業債の利息などであり、決算額はそれぞれ記載のとおりでございます。

次に、3ページをお願いいたします。

(2)の資本的収入及び支出について申し上げます。

収入の部の第1款資本的収入は、予算額2億278万2,000円に対し、決算額は6,310万4,000円となり、収入率は31.1%となりました。内訳としまして、第1項は企業債ですが、令和4年度の借入れはございませんでした。第2項は負担金で、消火栓設置に対する一般会計からの負担金です。第3項は給水申込納付金となり、決算額はそれぞれ記載のとおりでございます。

次に、支出の部ですが、第1款資本的支出は、予算額3億9,842万6,000円に対し、決算額は2億2,247万5,148円となり、執行率は55.8%となりました。内訳としましては、第1項建設改良費は、耐震型の配水管への布設替え工事費や次亜塩素素注入設備等の固定資産取得費であり、第2項企業債償還金は、建設改良費等に係る企業債償還元金で、決算額はそれぞれ記載のとおりでございます。

3ページの一番下の欄外になりますが、資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億5,937万1,148円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,328万5,170円、減債積立金5,175万4,018円、建設改良積立金9,433万1,960円で補填いたしました。

続いて、5ページの損益計算書をご覧ください。

税抜きの金額となっております。

1の営業収益は、2列目の数字になりますが13億1,794万6,280円、2の営業費用は13億1,770万9,746円、差引き営業利益は3列目の23万6,534円となりました。

3の営業外収益は、2列目になりますが2億194万657円、4の営業外費用として731万4,061円、差引きは3列目の1億9,462万6,596円となり、営業利益を加えますと、経常利益は1億9,486万3,130円の黒字となりました。

当年度の純利益も同額となり、その他未処分利益剰余金変動額を加えた当年度未処分利益剰

余金は3億4,094万9,108円となります。

次に、6ページ、7ページ上段の剰余金計算書をご覧ください。

税抜きの金額となっております。

表の左側の資本金の当年度末残高は、一番下になりますが、39億777万769円となりました。

表の中ほどの列になりますが、資本剰余金合計欄の当年度末残高は968万1,216円となりました。

右から2列目の利益剰余金合計欄の当年度末残高は、16億2,758万4,755円となりました。

表の一番右の資本合計は資本金と剰余金の合計であり、当年度末残高は一番右下になりますが、55億4,503万6,740円となりました。

6ページ下段の剰余金処分計算書(案)をご覧ください。

剰余金処分計算書(案)の内容につきましては、表の右側、未処分利益剰余金の当年度末残高3億4,094万9,108円の処分に係るものですが、当年度純利益1億9,486万3,130円に対する部分として、2,806万3,130円を減債積立金へ、1億6,680万円を建設改良積立金に、それぞれ積み立て、資本的支出に補填した減債積立金及び建設改良積立金の合計額1億4,608万5,978円については、資本金に組み入れるものでございます。

次に、8ページ、9ページの貸借対照表をご覧ください。

税抜きの金額となっております。

8ページ、資産の部、1、固定資産、2、流動資産の合計である資産合計は、一番右の列、二重下線の引いてある83億5,110万2,485円となりました。

次に、負債の部ですが、9ページ上段をご覧ください。

3、固定負債、4、流動負債及び5、繰延収益の合計である負債合計は、一番右の列の一番下、二重下線の引いてある28億606万5,745円となりました。

次に、資本の部ですが、下段をご覧ください。

6、資本金、7、剰余金の合計額は、下から2行目、資本合計55億4,503万6,740円となり、これに上段の負債合計を加えますと、負債と資本の合計は一番右の列の一番下、二重下線の引いてある83億5,110万2,485円となり、資産合計と一致いたします。

続きまして、13ページをお願いいたします。

建設改良工事の概況であり、内容は記載のとおりでございます。

次の15ページは、保存工事の概況であり、内容は記載のとおりでございます。

17 ページをお願いいたします。

年間の業務量です。

次の 18 ページは、事業収入及び事業費に関する事項で、それぞれ前年度比較で記載してございます。

19 ページをお願いします。

4、会計になります。(1)は重要契約の要旨、(2)は企業債及び一時借入金の概況でございます。

5、その他は、他会計補助金等の用途についての記載でございます。

20 ページはキャッシュ・フロー計算書であり、内容は記載のとおりでございます。

21 ページから 23 ページまでは収益費用明細書であり、科目ごとの明細となっております。

24 ページは固定資産明細書、25 ページは企業債明細書となっております。

26 ページは注記で、会計処理の基準及び手続きを表示したもので、各内容につきましては記載のとおりでございます。

以上で、議案第 6 号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第 7 号、令和 4 年度旭市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について、補足説明を申し上げます。

決算書は、同じ旭市公営企業会計決算書の 27 ページからになりますが、初めに、36 ページをお願いいたします。

事業報告書でございます。

(1) 総括事項、5 行目になりますが、業務状況でございます。

年度末の水洗化状況は、接続人口 4,878 人、接続件数は 2,136 件、水洗化率は 73.7%となりました。料金収入の基礎となります年間有収水量は 63 万 7,044 立方メートル、有収率は 84.3%で、前年度と比較しますと 0.2 ポイントの減となっております。

経理状況につきましては、この後の決算状況の中でご説明をさせていただきます。

(2)は経営指標に関する事項、37 ページにまいりまして、(3)は議会議決事項、(4)行政官庁認可事項、(5)は職員に関する事項となっております。

恐れ入りますが、前に戻りまして 27 ページをお願いいたします。

令和 4 年度の決算報告書でございます。

この報告書の金額は、消費税込みとなっております。

初めに、(1)収益的収入及び支出について申し上げます。

収入につきましては、第1款下水道事業収益の予算額5億8,800万7,000円に対し、決算額5億9,538万8,223円となり、収入率は101.3%となりました。内訳としまして、第1項営業収益の主なものは公共下水道使用料であり、第2項の営業外収益は、一般会計負担金や長期前受金戻入などで、決算額はそれぞれ記載のとおりでございます。

支出につきましては、第1款下水道事業費用の予算額5億5,650万9,000円に対し、決算額5億3,119万5,243円となり、執行率は95.5%となりました。内訳としまして、第1項営業費用は、処理場費、減価償却費、人件費等で、第2項営業外費用は、企業債の利息などであり、決算額はそれぞれ記載のとおりでございます。

次に、29ページをお願いいたします。

(2)の資本的収入及び支出について申し上げます。

収入の部の第1款資本的収入は、予算額2億5,678万3,000円に対し、決算額は1億9,518万4,600円となり、収入率は76.0%となりました。内訳は、第1項企業債、第2項他会計負担金、第3項は負担金及び分担金でございます。

次に、支出の部ですが、第1款資本的支出は、予算額3億6,120万7,000円に対し、決算額は2億9,283万9,349円となり、執行率は81.1%となりました。内訳としましては、第1項建設改良費は公共ます設置工事費や無停電電源装置等の固定資産取得費であり、第2項企業債償還金は企業債償還元金で、決算額はそれぞれ記載のとおりでございます。

29ページの一番下の欄外になりますが、資本的収入額が資本的支出額に不足する額9,765万4,749円については、減債積立金3,383万7,250円及び過年度分損益勘定留保資金6,381万7,499円で補填いたしました。

続いて、31ページの損益計算書をご覧ください。

この金額につきましては、税抜きとなっております。

1の営業収益は、2列目の数字になりますが、1億994万8,030円、2の営業費用は、同じく2列目、4億5,785万658円、差引き営業損失は、3列目の3億4,790万2,628円となりました。

3の営業外収益は、2列目になりますが、4億7,440万4,463円、4の営業外費用として、同じく2列目、5,278万8,879円、差引きは3列目の4億2,161万5,584円となり、営業損失を差し引きますと、経常利益は7,371万2,956円の黒字となりました。

5の特別損失は45万6,057円であり、当年度純利益は差引き7,325万6,899円となり、前年度繰越利益剰余金、その他未処分利益剰余金変動額を加え、当年度未処分利益剰余金は1

億2,545万8,254円となりました。

次に、32ページ、33ページ、上段の剰余金計算書をご覧ください。

この金額につきましても、税抜きとなっております。

表の左側の資本金の当年度末残高は、一番下の行になりますが、1億7,825万8,136円となりました。表の右から2列目の利益剰余金合計欄の当年度末残高は1億2,545万8,254円となりました。表の一番右側の資本合計は資本金と剰余金の合計であり、当年度末残高は、一番右下になりますが、3億371万6,390円となりました。

32ページ下段の剰余金処分計算書(案)をご覧ください。

剰余金処分計算書(案)の内容につきましては、表の右側、未処分利益剰余金の当年度末残高1億2,545万8,254円の処分に係るものですが、前年度繰越利益剰余金1,836万4,105円を減債積立金へ積み立て、資本的支出に補填した減債積立金3,383万7,250円については、資本金に組み入れるものでございます。

次に、34ページ、35ページの貸借対照表をご覧ください。

この金額につきましても、税抜きとなっております。

34ページ、資産の部。

1、固定資産、2、流動資産の合計である資産合計は、一番右の列、二重下線の引いてある80億6,466万4,213円となりました。

次に、負債の部ですが、35ページ上段をご覧ください。

3、固定負債、4、流動負債及び5、繰延収益の合計である負債合計は、一番右の列の一番下、二重下線の引いてある77億6,094万7,823円となりました。

次に、資本の部ですが、下段をご覧ください。

6、資本金、7、剰余金の合計額は、一番右の列の下から2行目、資本合計3億371万6,390円となり、これに負債合計を加えますと、負債と資本の合計は、一番右の列の一番下、二重下線の引いてある80億6,466万4,213円となり、資産合計と一致いたします。

続きまして、38ページをお願いいたします。

建設改良工事、保存工事の概況であり、内容は記載のとおりでございます。

次の40ページは、年間の業務量であり、41ページは、事業収入及び事業費に関する事項で、それぞれ前年度比較で記載してございます。

42ページをお願いします。

4、会計になります。(1)は重要契約の要旨、(2)は企業債及び一時借入金の概況でご

ございます。

5、その他は、他会計負担金等の使途についての記載でございます。

43 ページはキャッシュ・フロー計算書であり、内容は記載のとおりでございます。

44 ページから 46 ページまでは収益費用明細書であり、科目ごとの明細となっております。

47 ページは固定資産明細書、48 ページから 50 ページは企業債明細書となっております。

51 ページは注記で、会計処理の基準及び手続きを表示したものとなります。各内容につきましては記載のとおりでございます。

以上で、議案第 7 号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第 8 号、令和 4 年度旭市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について、補足説明を申し上げます。

決算書は、同じく旭市公営企業会計決算書の 52 ページからになりますが、初めに、61 ページをお願いいたします。

事業報告書でございます。

農業集落排水事業の概況からご説明申し上げます。

(1) 総括事項、6 行目になりますが、業務状況でございます。

年度末の水洗化状況は、接続人口 1,376 人、接続件数は 426 件で、水洗化率は 74.5%となりました。料金収入の基礎となります年間有収水量は 13 万 1,404 立方メートルとなり、有収率は 100%となっております。

経理状況につきましては、この後の決算状況の中でご説明をさせていただきます。

(2) は経営指標に関する事項、62 ページにまいりまして、(3) は議会議決事項、(4) 行政官庁認可事項、(5) は職員に関する事項となっております。

恐れ入りますが、前に戻りまして 52 ページをお願いいたします。

令和 4 年度の決算報告書でございます。

この報告書の金額は、消費税込みとなっております。

初めに、(1) 収益的収入及び支出について申し上げます。

収入につきましては、第 1 款下水道事業収益の予算額 8,274 万 1,000 円に対し、決算額 8,271 万 9,800 円となり、収入率は 99.9%となりました。内訳としまして、第 1 項営業収益は農業集落排水処理施設使用料であり、第 2 項の営業外収益は一般会計負担金などで、決算額はそれぞれ記載のとおりでございます。

支出につきましては、第 1 款下水道事業費用の予算額 8,066 万 3,000 円に対し、決算額

7,223万837円となり、執行率は89.5%となりました。内訳としまして、第1項営業費用は、管渠費、処理場費、減価償却費、人件費等で、第2項営業外費用は企業債の利息などであり、決算額はそれぞれ記載のとおりでございます。

次に、54ページをお願いいたします。

(2)の資本的収入及び支出について申し上げます。

収入の部の第1款資本的収入は、予算額2,638万5,000円に対し、決算額は2,680万5,000円となり、収入率は101.6%となりました。内訳は、第1項企業債、第2項他会計負担金、第3項は負担金及び分担金となります。

次に、支出の部ですが、第1款資本的支出は、予算額4,241万3,000円に対し、決算額は3,442万7,522円となり、執行率は81.2%となりました。内訳としましては、第1項建設改良費は、ポンプ場制御盤や回分槽ばっ気攪拌装置の更新であり、第2項企業債償還金は企業債償還元金で、決算額は記載のとおりでございます。

続いて、56ページの損益計算書をご覧ください。

こちらは税抜き金額となっております。

1の営業収益は、2列目の数字になりますが、1,586万7,450円、2の営業費用は、同じく2列目、6,712万2,765円、差引き営業損失は3列目の5,125万5,315円となりました。

3の営業外収益は、2列目になりますが、6,526万5,854円、4の営業外費用として、同じく2列目、322万5,006円、差引きは3列目の6,204万848円となり、営業損失を差し引きますと、経常利益は1,078万5,533円の黒字となりました。

5の特別損失は2,310円であり、当年度純利益は、差引き1,078万3,223円となり、前年度繰越利益剰余金、その他未処分利益剰余金変動額を加え、当年度未処分利益剰余金は2,354万3,632円となりました。

次に、57ページ、58ページの剰余金計算書をご覧ください。

税抜き金額となっております。

57ページ、表の左の資本金の当年度末残高は、一番下になりますが、昨年同額の6,060万3,518円です。

表の右から2列目の利益剰余金合計欄の当年度末残高は、3,102万8,369円となりました。

表の一番右の資本合計は資本金と剰余金の合計であり、当年度末残高は一番右下になりますが、9,163万1,887円となりました。

57ページ下段の剰余金処分計算書(案)をご覧ください。

剰余金処分計算書（案）の内容につきましては、表の右側、未処分利益剰余金の当年度末残高 2,354 万 3,632 円の処分に係るものですが、100 万円を減債積立金に、413 万 7,887 円を建設改良積立金に積み立て、資本的支出に補填した減債積立金及び建設改良積立金の合計額 762 万 2,522 円を資本金に組み入れるものでございます。

次に、59 ページ、60 ページの貸借対照表をご覧ください。

税抜きの金額となっております。

59 ページ、資産の部、1、固定資産、2、流動資産の合計である資産合計は、一番右の列の一番下、二重下線の引いてある 9 億 7,324 万 361 円となりました。

次に、負債の部ですが、60 ページ上段をご覧ください。

3、固定負債と 4、流動負債、5、繰延収益の合計である負債合計は、一番右の列の二重下線の引いてある 8 億 8,160 万 8,474 円となりました。

次に、資本の部ですが、下段をご覧ください。

6、資本金、7、剰余金の合計額は、一番右の列の下から 2 行目、資本合計 9,163 万 1,887 円となり、これに負債合計を加えますと、負債と資本の合計は、一番右の列の一番下、二重下線の引いてある 9 億 7,324 万 361 円となり、資産合計と一致いたします。

63 ページをお願いいたします。

建設改良工事、保存工事の概況であり、内容は記載のとおりでございます。

次の 65 ページは、年間の業務量であり、66 ページは、事業収入及び事業費に関する事項で、それぞれ前年度比較で記載してございます。

67 ページをお願いいたします。

4、会計になります。（1）は重要契約の要旨、（2）は企業債及び一時借入金の概況でございます。

5、その他は、他会計負担金等の用途についての記載でございます。

68 ページはキャッシュ・フロー計算書であり、内容は記載のとおりでございます。

69 ページから 71 ページまでは収益費用明細書であり、科目ごとの明細となっております。

72 ページは固定資産明細書、73 ページは企業債明細書となっております。

74 ページは注記で、会計処理の基準及び手続きを表示したものとなります。各内容につきましては、記載のとおりでございます。

以上で、議案第 8 号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 上下水道課長の補足説明は終わりました。

ここで、令和4年度旭市一般会計及び特別会計ほか歳入歳出決算に関する審査の結果について、代表監査委員の報告を求めます。

木村哲三代表監査委員、ご登壇願います。

(代表監査委員 木村哲三 登壇)

○代表監査委員（木村哲三） 決算審査報告。代表監査委員の木村です。

令和4年度旭市一般会計及び病院事業債管理特別会計をはじめとした四つの特別会計、並びに水道事業をはじめとした三つの公営企業会計の各決算審査の結果について報告いたします。

地方自治法第233条第2項及び地方公営企業法第30条第2項の規定により、各会計の決算について審査を実施いたしました。

審査においては、計数は正確であるか、予算の執行は適正で効率的かつ効果的に行われているか。また財務に関する事務は関係諸法規に適合しているかなどの諸点に留意し、関係諸帳簿、証書等を照合・精査するとともに関係職員の説明を求め、さらに例月現金出納検査、定期監査等の結果も踏まえて、慎重に行いました。

審査の結果、一般会計、特別会計歳入歳出決算書及び公営企業会計における決算諸表等は、いずれも法令に準拠して作成されており、計数については関係書類と符合し正確でありました。また、予算の執行及び事務処理については、所期の目的に沿って適正になされたものと認められました。

まず初めに、一般会計及び特別会計について申し上げます。

一般会計及び特別会計の決算状況は、実質収支額が19億8,662万円の黒字で、各会計の実質収支額も全て黒字となっております。なお、歳入につきましては、全庁的に債権回収に取り組んだ成果が、本年度の税収入済額及び収納率の向上に成果として現れております。引き続き、効果的な収納対策により市民負担の公平性と貴重な自主財源の確保に努め、財政の健全性を堅持することを望むものであります。

次に、地方自治法第241条第5項の規定に基づく基金運用状況の審査につきましては、関係書類の計数はいずれも正確で、基金の設置趣旨に沿って適正に運用されているものと認められました。

続いて、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定による実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率から成る健全化判断比率の審査において、いずれの比率も良好な状態にあり、財政運営が法令等の趣旨に沿って適切になされていることを確認いたしました。

次に、公営企業会計について申し上げます。

初めに、水道事業につきましては、損益計算書から経営状況を見ると、当年度純利益は、主に営業費用の委託料が増加したことにより、前年度と比べ 28.4%減少したものの 1 億 9,486 万 3,000 円を計上しております。

また、経営分析表を見ると、安定性を示す自己資本構成比率は前年度を上回っており、経営状況を示す総収支比率、経常収支比率は前年度と比べ低下しているものの、ともに望ましいとされる 100%を超えていることから、財政の健全性はおおむね良好であり、財務全般で健全な構造が維持されております。

今後、給水収益の大幅な増加が見込めない中、水道施設の一斉更新時期の到来に伴う更新需要の増大を控え、より厳しい経営環境となることが予測されることから、安定した収益確保と効率的な経営に努めるとともに、旭市水道事業ビジョン及び旭市水道耐震化計画に基づき、耐震化を考慮した管路や既存施設の計画的な更新、改良の実施により、安全で安心な水の安定供給に努められることを望みます。

次に、公共下水道事業と農業集落排水事業につきましては、特別会計から公営企業へ移行し、3年目の決算となります。損益計算書から経営状況を見ると、両事業ともに純利益が生じており、経営状況を示す総収支比率、経常収支比率が望ましいとされる 100%を超えていることから、財政の健全性はおおむね良好であると言えます。

一方で、公共下水道事業と農業集落排水事業は、ともに一般会計からの繰入金の高割合ことから、この2事業については事業決定の課題を、今後の事業企画時の参考として記憶にとどめておかなければなりません。引き続き普及啓発活動を積極的に実施し、公共下水道並びに農業集落排水への加入の推進を図るとともに、将来にわたり持続可能な経営基盤の確立と効率的な施設管理に努められることを望みます。

なお、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 22 条第 1 項の規定による公営企業会計の資金不足比率の審査においては、資金不足額が生じていないため比率は算出されず、特に指摘すべき事項はありませんでした。

今後、人口減少、少子高齢化対策及び安全・安心なまちづくり等を積極的に推進するための費用の増加や昨今の社会情勢による経常経費の負担増など、市財政需要の増大が見込まれます。

そのような中で、将来にわたって持続可能な行財政運営基盤の確立に向け、引き続き行財政改革や公共施設の適正な管理・運営を着実に進めることはもとより、旭市総合戦略に掲げる

諸施策を着実に実施し、市民が将来に希望をもって子どもを産み、育て、教育を受け、安心して働き暮らせる、そして、人口が増加するような活力あるまちづくりに結びつくよう、チーム旭で尽力されることを要望して、監査委員の総意といたします。

○議長（木内欽市） 代表監査委員の決算審査報告は終わりました。

議案の補足説明は途中ですが、午後2時20分まで休憩いたします。

休憩 午後 2時 5分

再開 午後 2時20分

○議長（木内欽市） 休憩前に引き続き会議を開きます。

続いて、補正予算及びその他の議案について説明を求めます。

議案第9号、議案第14号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 山崎剛成 登壇）

○財政課長（山崎剛成） それでは、議案第9号及び議案第14号について説明させていただきます。

初めに、議案第9号、令和5年度旭市一般会計補正予算の議決について補足説明を申し上げます。

補正予算書をお手元をお願いしたいと思います。

1ページをお開きください。

第1条は、歳入歳出予算にそれぞれ9億8,400万円を追加し、予算の総額を322億300万円とするものです。

第2条、債務負担行為の補正と、第3条、地方債の補正につきましては、この後説明いたします。

4ページをお願いいたします。

第2表、債務負担行為補正です。

今回の補正は、三つの事項について新たに債務負担行為の設定を行うものです。

事項ごとに内容を申し上げます。

上の二つ、統合保育所建設工事施工監理業務委託と統合保育所建設工事は、保育所統合整備事業における中央第二保育所とゆたか保育所の統合保育所建設工事とその施工監理業務につ

いて、履行期間が令和6年度にまたがることから債務負担行為を設定するものです。

全体事業費は、施工監理業務委託が1,243万1,000円、建設工事が8億4,447万1,000円で、表の右側、翌年度以降の債務負担行為を設定する限度額は、施工監理業務委託が1,019万3,000円で、建設工事は6億9,246万6,000円でございます。

続いて、一番下、ちば消防共同指令センター指令システム機器全体更新負担金は、ちば消防共同指令センターの指令システム機器全体更新整備事業に係る負担金について、全体更新の整備期間が令和8年度まで予定されていることから、令和5年度から令和8年度まで債務負担行為を設定するものでございます。

全体事業費は1億5,087万9,000円で、表の右側、翌年度以降の債務負担行為を設定する限度額は同額の1億5,087万9,000円でございます。

5ページをお願いいたします。

第3表、地方債補正です。

今回の補正は、地方債の変更です。

児童福祉施設整備事業は、先ほど債務負担行為補正で説明しました保育所統合整備事業に係る起債で、限度額を190万円から1億3,880万円増額し、1億4,070万円とするものです。

9ページをお願いいたします。

歳入について説明いたします。

14款1項1目民生費国庫負担金1億1,793万8,000円の増は、生活保護費国庫負担金の説明欄1、生活保護費負担金です。こちらは、今回の補正で増額を予定しております生活保護扶助費に対する国の負担金となります。

2項2目民生費国庫補助金125万3,000円の増は、説明欄1、生活困窮者就労準備支援事業費等補助金です。こちらは、生活保護費の基準額等の改定に伴い、必要となる経費に対する国の補助で、生活保護総務事務費に対する補助金となります。

5目教育費国庫補助金165万円の増は、説明欄1、公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金です。こちらは、学校のICT運用を支援する国の補助で、教育の情報化推進事業に対する補助金となります。

19款1項1目繰越金7億2,435万9,000円の増は、前年度繰越金の一部を今回の補正財源として計上するものであります。

10ページをお願いいたします。

21款市債については、先ほど第3表の地方債補正で説明したとおりでございます。

以上で歳入の説明を終わりました、続いて歳出について説明いたします。

11 ページをお願いいたします。

2 款 1 項 6 目財産管理費 6 億 7,000 万円の増は、説明欄 1、減債基金積立金で、令和 4 年度決算の確定に伴い、剰余金の 2 分の 1 を下らない額を減債基金に積み立てるものです。

3 款 3 項 6 目保育所費 1 億 5,424 万 3,000 円の増は、説明欄 1、保育所統合整備事業で、先ほど債務負担行為補正で説明しました、中央第二保育所とゆたか保育所の統合保育所建設工事とその施工監理業務に係る令和 5 年度分の事業費です。

4 項 1 目生活保護総務費 250 万 6,000 円の増は、説明欄 1、生活保護総務事務費で、生活保護費の基準額等の改定に伴う電算システムの改修費用です。

12 ページをお願いいたします。

2 目扶助費 1 億 5,725 万 1,000 円の増は、説明欄 1、生活保護扶助費で、医療扶助費の増加と生活保護費の基準額等の改定に伴い、令和 5 年 10 月以降、生活扶助費に特例加算として 1 人当たり月額 1,000 円が上乘せとなることから、事業費を増額するものであります。

10 款 1 項 2 目事務局費は、財源の変更となります。財源内訳を一般財源から 165 万円、国庫支出金へ財源変更するもので、歳入で説明しました公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金を教育の情報化推進事業に充当するものであります。

以上で歳出の説明を終わります。

続いて、13 ページをお願いいたします。

この表は、地方債の現在高の見込みに関する調書です。

左側、区分欄の 1、普通債の行の左右中ほどになりますが、補正額の列をご覧ください。

補正額は 1 億 3,880 万円の増で、内容につきましては、先ほど第 3 表、地方債補正で説明しました保育所統合整備事業に係る起債です。

表の一番右下になります、今回の補正額を含めた令和 5 年度末の現在高見込額は、286 億 4,227 万 9,000 円となります。

以上で議案第 9 号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第 14 号、専決処分承認について補足説明を申し上げます。

補正予算書をお手元をお願いしたいと思います。

令和 5 年度旭市一般会計補正予算（第 3 号）です。

この補正予算は、新型コロナウイルスワクチンの令和 5 年度秋開始接種に係る費用について、ワクチン接種を継続して実施するため迅速に対応する必要があったことから、8 月 3 日に専

決処分しましたので、議会の承認を求めるものであります。

1 ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算にそれぞれ1億3,500万円を追加し、予算の総額を312億1,900万円としたものであります。

7 ページをお願いいたします。

歳入について説明いたします。

14 款2項3目衛生費国庫補助金1億3,500万円の増は、説明欄1、新型コロナウイルスワクチン接種事務費補助金7,135万2,000円と、説明欄2、新型コロナウイルスワクチン接種事業費補助金6,364万8,000円によるものであります。こちらは、新型コロナウイルスワクチン接種事業に対する補助金となります。

以上で歳入の説明を終わりにして、続いて歳出について説明いたします。

8 ページをお願いいたします。

4 款1項2目予防費1億3,500万円の増は、説明欄1、新型コロナウイルスワクチン接種事業で、新型コロナウイルスワクチンの令和5年度秋開始接種に要する費用となります。

以上で議案第14号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 財政課長の補足説明は終わりました。

議案第10号について、高齢者福祉課長、登壇してください。

（高齢者福祉課長 椎名 隆 登壇）

○高齢者福祉課長（椎名 隆） 議案第10号、令和5年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について補足説明を申し上げます。

補正予算書の1ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,475万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ56億1,775万4,000円とするものです。

第2条の債務負担行為は、後ほどご説明いたします。

2ページと3ページは歳入歳出予算の款項の補正額であり、5ページと6ページは事項別明細書の総括となっております。詳しい内容につきましては、7ページ以降でご説明いたします。

それでは、7ページをお願いいたします。

初めに、歳入になります。

7 款の繰越金ですが、令和4年度決算に基づく繰越額を今回の補正財源として1,475万

4,000円を計上するものであります。

続きまして、歳出についてご説明いたします。

8ページをお願いいたします。

6款1項2目償還金は1,475万4,000円を追加し、1,475万8,000円とするもので、これは令和4年度介護給付費交付金等の確定による支払基金交付金の精算分を返還するものでございます。

戻っていただきまして、4ページをお願いいたします。

第2表の債務負担行為となります。

表の一番上の地域包括支援センター業務委託料につきましては、本年度末をもって現行の中央地域、北部地域、東部地域の3地域包括支援センターの委託契約が終了するため、新たに令和8年度までの3年間の業務委託契約を締結すべく、限度額2億5,185万円の債務負担行為の設定を行うものであります。

また、その下の生活支援コーディネーター業務委託料、限度額900万円、認知症地域支援推進員業務委託料、限度額600万円につきましては、機能強化型センターである中央地域包括支援センターに新たにコーディネーターと推進員を配置するため、地域包括支援センター業務委託に併せて、それぞれ債務負担行為の設定を行うものでございます。

以上で議案第10号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 高齢者福祉課長の補足説明は終わりました。

議案第11号について、市民生活課長、登壇してください。

（市民生活課長 江波戸政和 登壇）

○市民生活課長（江波戸政和） 議案第11号、旭市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について補足説明を申し上げます。

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の規定による、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、マイナンバーカードの電子証明書の機能がスマートフォンのアプリケーションに搭載できるようになりました。

本議案は、これに伴い、コンビニエンスストア等における印鑑登録証明書の交付申請において、マイナンバーカードのほか、スマートフォンを用いた方法を新たに加えるため、必要な改正を行うものであります。

それでは、新旧対照表の1ページをご覧ください。

表の左側の現行の規定では、第 13 条第 2 項は個人番号カード、いわゆるマイナンバーカードを利用して、コンビニエンスストア等で暗証番号を入力して印鑑登録証明書を申請する方法を定めてあります。

これを、表の右側にあります改正案のように第 1 号と第 2 号を設け、第 1 号がマイナンバーカードを用いる方法、第 2 号が移動端末設備、いわゆるスマートフォンを用いる方法、いずれかを利用して申請できるように改正するものでございます。

また、改正案では、第 13 条第 2 項本文中に多機能端末機という文言を加えておりますが、これはコンビニエンスストア等に設置してありますキオスク端末のことで、暗証番号をキオスク端末に入力して申請するという操作方法を明確化するため加えております。

なお、スマートフォンを用いたコンビニエンスストア等での証明書の交付サービスが可能となる時期は、全国で本年 10 月以降とされており、この条例の施行は規則で定める日からとなります。

また、コンビニ交付サービスでは、ほかに住民票の写しや戸籍の証明書等も取得できますが、これらの交付申請についてはそれぞれの法律で改正済みです。

以上で議案第 11 号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 市民生活課長の補足説明は終わりました。

議案第 12 号について、都市整備課長、登壇してください。

（都市整備課長 飯島和則 登壇）

○都市整備課長（飯島和則） 議案第 12 号、旭市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について補足説明を申し上げます。

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴い、引用法令の条項の整理をするものです。

新旧対照表の 3 ページをお開きください。

条例第 6 条中「第 6 条第 1 項」を「第 7 条第 1 項」に、第 7 条第 1 項中「第 7 条第 1 項」を「第 8 条第 1 項」に条項の整理をするものであります。

以上で議案第 12 号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 都市整備課長の補足説明は終わりました。

議案第 13 号について、消防長、登壇してください。

（消防長 伊東秀貴 登壇）

○消防長（伊東秀貴） 議案第 13 号、旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

補足説明を申し上げます。

改正の趣旨としましては、現在の蓄電池設備の規制は主に鉛蓄電池設備を想定されたものであるため、リチウムイオン蓄電池設備など新たな蓄電池設備や、今般の蓄電池設備の大容量化などに十分対応できていないため、改正するものであります。

また、変電設備や急速充電設備については、火災予防上必要な安全対策について、さらに別表第3につきましても、厨房設備からの出火を防ぐ目的で建築物等との間の離隔距離について、整理をするものであります。

では、主な改正内容を説明いたします。

お手元の新旧対照表の4ページをご覧ください。

まず、変電設備について、第11条につきましても、変電設備からの火災危険を排除するとともに、他の施設への延焼を防止するために必要な規定であり、第1項第3号の2につきましても、基本的な安全対策等に関する規定について所要の改正を行うものであります。

続きまして、4ページから5ページをご覧ください。

急速充電設備について、第11条の2につきましても、充電用ケーブルを電気自動車等に接続するためのコネクタを用いて充電する設備の規定であり、第1項第4号につきましても、構造基準に関する規定について所要の改正を行うものであります。

続きまして、蓄電池設備について、第13条につきましても、蓄電池を主体として、これに充電する装置等を含む一体の設備に関する規定であり、第1項につきましても、規制対象の指定に係る単位をアンペアアワー・セルからキロワット時に、また一定要件の出火防止措置が講じられたものを規制の対象から除くこと、さらに火災予防上必要な安全対策に関する規定等について、所要の改正を行うものであります。

第3項及び第4項につきましても、蓄電池設備の位置・構造に係る火災予防上必要な安全対策に関する規定について、所要の改正を行うものであります。

次に、6ページをご覧ください。

火を使用する設備等の設置の届出、第44条第13号につきましても、蓄電池容量20キロワット時以下の蓄電池設備は届出を要しないと改正を行うものであります。

次に、6ページ及び7ページをご覧ください。

別表第3につきましても、厨房設備の項中に炭火焼き器の離隔距離の規定を新たに追加するものであります。

戻りまして、改正文の3ページ、附則をご覧ください。

施行日につきましては、いずれの改正規定も令和6年1月1日からとなります。

経過措置としまして、この条例の施行の際、現に設置等されている新条例第11条第1項第3号の2及び新条例第13条第1項に規定する基準の適用については、なお従前の例によるものとしております。

また、新条例第13条第1項に新たに該当することとなるもののうち、この条例の施行の際、現に設置されているもの及び施行の日から起算して2年を経過する日までの間に設置されたもので規定に適合しないものについては、適用しないものとしております。

以上で議案第13号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 消防長の補足説明は終わりました。

続いて、報告の説明を求めます。

報告第1号について、保険年金課長、登壇してください。

（保険年金課長 高野 久 登壇）

○保険年金課長（高野 久） 報告第1号、令和4年度旭市高額療養費貸付基金の運用状況についてご報告申し上げます。

お手元に報告第1号をご用意いただきたいと思います。

1枚めくっていただき、表をご覧ください。

表の下段、令和4年度末の欄をご覧ください。

B欄の基金現在高は、令和3年度末と同額の1,000万円です。

貸付け等の状況でございますが、Cの欄の貸付をご覧ください。

年度中の貸付けの件数及び金額は7件で、98万6,000円です。

返済につきましては、Dの欄において、7件全て返済されておりますので、Fの欄の預金残高は満額の1,000万円となっております。

以上で報告第1号の説明を終わらせていただきます。

○議長（木内欽市） 保険年金課長の説明は終わりました。

報告第2号、報告第3号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 山崎剛成 登壇）

○財政課長（山崎剛成） 報告第2号及び報告第3号について説明申し上げます。

初めに、報告第2号、令和4年度決算に基づく旭市の健全化判断比率について申し上げます。

1枚めくっていただきまして、表をご覧ください。

まず、算定項目の1、実質赤字比率であります。これは一般会計に係る実質赤字額の標準

財政規模に対する比率でありまして、本市におきましては黒字であったため該当いたしません。

次に、2の連結実質赤字比率につきましては、公営企業会計を含む全ての会計を合計した実質赤字額の標準財政規模に対する比率でありまして、全会計とも黒字であったため、こちらも該当いたしません。

なお、これらの二つの指標の括弧書きにつきましては、参考として黒字の比率を表しております。

次に、3、実質公債費比率でございますが、これは一般会計から公営企業会計、一部事務組合までを含め、旭市が負担した元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率でありまして、本市は早期健全化基準の25%を下回る9.5%となっております。昨年度の8.9%と比べますと0.6ポイント上昇しております。

次に、4の将来負担比率であります。これは一般会計から公営企業会計、一部事務組合、第三セクター等までを含め、旭市が将来負担する実質的な負債の標準財政規模に対する比率でございます。

本年度も昨年度と同様、将来負担額を充当可能財源等が上回ったため、比率として算定されず該当なしとなりました。

以上のとおり、令和4年度決算に基づく健全化判断比率につきましては、4指標とも基準をクリアしております。

以上で報告第2号の説明を終わります。続きまして、報告第3号、令和4年度旭市公営企業決算における資金不足比率について説明申し上げます。

また1枚めくっていただきまして、表をご覧ください。

令和4年度の旭市の資金不足比率については、資金不足が生じた公営企業会計はありませんので、全て該当しておりません。

なお、括弧書きにつきましては、参考として資金剰余比率を表しております。

以上のとおり、令和4年度は全ての公営企業会計において、資金不足比率が経営健全化基準をクリアしております。

以上で報告第2号及び報告第3号の説明を終わります。

○議長（木内欽市） 財政課長の説明は終わりました。

報告第4号から報告第7号までの報告4件について、企画政策課長、登壇してください。

（企画政策課長 柴 栄男 登壇）

○企画政策課長（柴 栄男） それでは、報告第4号から第7号について順次説明いたします。

まず、報告第4号、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の令和4事業年度の業務実績に係る評価結果について説明申し上げます。

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の令和4事業年度が終了し、法人から1年間の業務実績が市に提出され、地方独立行政法人法第28条第1項及び第3項の規定に基づく評価がまとまったことから、本議会に報告するものです。

それでは、資料、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院令和4事業年度の業務実績に係る評価結果の1ページをお願いいたします。

ローマ数字のⅠ、年度評価の考え方になります。

その2段落目になりますが、評価の際には法人から提出された報告書を基に、同病院評価委員会からの意見書を踏まえて進捗状況を確認し、評価基本方針に基づき評価を行っております。

評価の基本方針については（1）に記載されている①から⑦までの七つになります。

次に、（2）年度評価の方法についてですが、年度評価については、当該年度計画に定めた事項ごとに行う項目別評価と業務実績の全体について行う全体評価を併せて行っております。

1、項目別評価の方法ですが、中項目評価、大項目評価の手順で行いました。

2ページをお願いいたします。

①中項目評価は、法人による小項目・細項目に係る自己評価結果を検証し、年度計画の中項目ごとの達成状況について評価しております。

②大項目評価は、中項目評価の結果を踏まえ、年度計画の大項目ごとの達成状況について評価しております。

なお、評価基準ですが、中項目・大項目それぞれ、S「年度計画を大きく上回っている」、A「年度計画を上回っている」、B「年度計画をほぼ予定どおりに実施している」、C「年度計画を下回っている」、D「年度計画を大きく下回っており改善が必要である」の5段階となっております。

2、全体評価の方法になりますが、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な達成状況について評価を行っており、評価基準は項目別評価同様、5段階評価となっております。

次に、3ページ、ローマ数字Ⅱ、全体評価をご覧ください。

（1）評価結果になりますが、全体の評価結果は、B（概ね計画どおりに進んでいる）であ

りました。

(2) 判断理由になります。3段落目をご覧ください。

令和4事業年度の業務実績については、二つの大項目に係る評価の全てがB評価であり、中項目については年度計画を下回るC、D評価となる項目はなく、そのほとんどがB評価でありました。

以上のことから、令和4事業年度の業務実績は、中期目標・中期計画の達成に向けて作成された年度計画を予定どおり実施しているものと判断し、全体評価はB評価（概ね計画どおりに進んでいる）としました。

(3) 評価委員会委員からの意見、指摘事項などですが、法人の自己評価結果は妥当なものと認められるとのことでした。

4ページをお願いします。

ローマ数字Ⅲ、項目別評価については、二つの大項目の評価結果、判断理由、評価委員会委員からの意見、指摘事項などが4ページから6ページにかけて示されております。

なお、各項目の詳細につきましては、添付しております令和4事業年度業務実績評価報告書をご覧くださいと思います。

以上で報告第4号の説明を終わります。

続きまして、報告第5号、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の第2期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に係る評価結果について説明を申し上げます。

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院から第2期中期目標期間、これは令和2年度から令和5年度となりますが、この期間の終了時に見込まれる業務実績が市に提出され、地方独立行政法人法第28条第1項及び第3項の規定に基づく評価がまとまったことから、本議会に報告するものです。

なお、この評価は、次期中期目標と中期計画を策定するに当たり、現中期目標期間の見込み評価を行うことで、できる限り現状を反映させるため実施するものです。

それでは、資料、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の第2期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に係る評価結果の1ページをお願いいたします。

ローマ数字のⅠ、中期目標期間見込評価の考え方になります。

これについては、先ほどの令和4事業年度の業務実績に係る評価結果と同様に、同病院評価委員会からの意見を踏まえ、評価の基本方針に基づき、項目別評価と全体評価を併せて行いました。

それぞれの評価基準については2ページに記載のとおり、SからDまでの5段階評価となっています。

では、3ページのローマ数字Ⅱ、全体評価をご覧ください。

(1) 評価結果になります。

全体の評価結果は、B（概ね中期目標どおりに進んでいる）でありました。

(2) 判断理由ですが、評価対象となる二つの大項目いずれもB評価（中期目標をほぼ予定どおりに実施している）でした。

法人は、救急医療、高度急性期医療をはじめとする医療、介護及び福祉の提供を担いつつ、開院以来、健全運営を維持しながら、地域の中核的な基幹病院として地域住民の健康を支えてきました。第2期中期目標期間においては、各年度計画の達成状況から、中期計画については予定どおりに実施していると判断しております。

(3) 評価委員会委員からの意見、指摘事項などがございますが、法人の自己評価結果は妥当なものと認められ、中期目標の達成が見込まれるというものでした。

4ページをお願いします。

ローマ数字Ⅲ、項目別評価では、評価対象となる二つの大項目ごとの評価結果、判断理由、評価委員会委員からの意見、指摘事項などが4ページから6ページにかけて示されております。

なお、各項目の詳細につきましては、別添、第2期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績報告書をご覧くださいと思います。

以上で報告第5号の説明を終わります。

続きまして、報告第6号、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の令和4年度の事業経営状況及び令和5年度の事業計画について説明を申し上げます。

まず、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業経営状況について申し上げます。

資料、令和4年度事業報告書になります。

本報告書は、国のガイドラインに基づいて令和4年度報告分から様式を変更し、作成されております。

2ページをお願いいたします。

なお、ページの下側の真ん中と端にページ番号を振っておりますが、端に振ってある番号にて説明をいたします。

2ページには病院理事長からのメッセージ、3ページから7ページには病院の現況、概要、

基本理念、組織図等の基本的な情報が記載されております。

8ページから24ページにかけて、年度計画に定めた項目についてどのように取り組んだのか記載されております。

25ページから96ページには、資料として中期目標、定款等を添付しております。

97ページをお願いいたします。

令和4年度財務諸表等になります。

100ページ、101ページをお願いいたします。

貸借対照表になります。

左側、100ページは資産の部になります。有形固定資産などの固定資産と現金及び預金などの流動資産で、右の列の一番下、資産合計は532億4,216万6,999円です。

右側、101ページになります。負債の部は、独法移行前の地方債償還債務や退職給付引当金などの固定負債と、未払金などの流動負債を合わせた負債の部合計は、表の中ほど、右端、345億7,638万430円、その下、純資産の部は資本金と資本剰余金、利益剰余金を合わせた純資産の部合計186億6,578万6,569円となり、右の列一番下の負債純資産の合計は532億4,216万6,999円です。

続いて、102ページ、103ページをお願いいたします。

損益計算書になります。この数字は消費税を抜いたものになります。

102ページ、営業収益合計は423億4,605万8,848円、営業費用合計は416億3,022万2,910円、一番下になります営業利益は7億1,583万5,938円となりました。

103ページをお願いします。

営業外収益合計は5億615万2,435円、営業外費用合計は3億615万9,979円、経常利益は9億1,582万8,394円となりました。

一番下から2行目、当期純利益は9億707万2,005円となりました。

105ページをお願いいたします。

キャッシュ・フロー計算書になります。

下から3行目、資金増加額は27億2,712万8,790円、一番下、資金期末残高は137億6,210万5,222円となりました。

106ページは、利益の処分に関する書類（案）になります。

当期総利益9億707万2,005円については、全額積み立てております。

107ページは、行政コスト計算書になります。

一番下の行、行政コストですが 419 億 5,091 万 5,421 円となりました。

108 ページから 112 ページまでは注記事項、113 ページから 128 ページまでは財務諸表の附属明細書、130 ページは消費税を含む決算報告書になります。

131 ページをお願いいたします。

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 2023 年度計画になります。

133 ページから 143 ページに、今年度、病院が取り組む事項が項目ごとに記載されております。

146 ページをお願いいたします。

予算になります。単位は 100 万円です。収入計 445 億 3,800 万円、支出計 456 億 6,300 万円です。

147 ページをお願いします。

収支計画ですが、収益の部計 436 億 7,900 万円、費用の部計 442 億 2,800 万円、表の一番下、総利益はマイナス 5 億 4,900 万円です。

148 ページをお願いいたします。

資金計画になります。資金収入及び資金支出はそれぞれ 591 億 4,500 万円となっております。以上で報告第 6 号の説明を終わります。

続きまして、報告第 7 号、株式会社季楽里あさひの令和 4 年度の事業経営状況及び令和 5 年度の事業計画について、地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定により説明申し上げます。

資料、経営状況報告書の 1 ページをお願いいたします。

1、事業報告の（1）概況になります。

道の駅季楽里あさひの令和 4 年度の経営状況につきましては、新型コロナウイルスの影響により各種イベントは計画どおりには実施できませんでしたが、地元消費者を中心に安定的な販売を堅持し、直売所、レストラン、テナントのいずれも令和 3 年度の売上げを上回る結果となりました。

道の駅全体の税込みの売上額はページ下の（2）のとおり、前年度比 111%の 9 億 2,986 万 3,000 円となりました。

2 ページをお願いします。

2、会社概要の（1）株主の概要についてです。

株式数、株主数とも設立時から変わっておりません。

（2）取締役会及び役員会では、集客向上に向けた各種企画、健全な経営に関する協議など

を行いました。

(3) 及び (4) は、それぞれ年度末現在の役員及び従業員の状況になります。

続いて、3の決算報告についてです。

第8期、令和4年4月1日から令和5年3月31日の純利益は1,691万606円となりました。

決算の詳細について説明いたします。

4ページをお願いします。

貸借対照表になります。

表の左側は資産の部になります。表一番下、現金、預金等の流動資産と備品等の固定資産を合わせた資産の部計は2億3,316万8,965円です。

右側の負債の部は、借入金等の固定負債はございませんので、流動負債としての買掛金や未払費用、仮受金などで、表の中ほど、負債の部計は9,281万9,421円、その下の純資産の部は株主資本で、資本金は設立時と同じ4,400万円、資本金と利益剰余金を合わせた純資産の部計は1億4,034万9,544円となり、一番下になりますが、負債・純資産の部計は2億3,316万8,965円となりました。

5ページをお願いします。

損益計算書になります。

売上高ですが2億5,679万2,378円、売上原価7,357万4,723円となり、表の中ほど、売上総利益ですが1億8,321万7,655円となりました。

販売費及び一般管理費は1億6,009万5,809円で、営業利益が2,312万1,846円となりました。

また、営業外収益は485万5,360円となりました。経常利益が2,797万7,206円となり、一番下の当期純利益が1,691万606円となりました。

6ページは販売費・一般管理費の内訳となります。

7ページをお願いします。

利益剰余金の処分になります。開業以来8期連続の黒字で、利益剰余金は9,194万9,544円となっております。

8ページをお願いします。

令和5年度に当たります第9期の事業計画になります。

1の基本計画では、来場者に安心して心地よいサービスを提供できるための基本的な計画を定めております。

2の個別計画として、(1)道の駅物販及び花木部門、(2)レストラン及び加工室、(3)公共事業及び情報発信、(4)ガバナンスについて、それぞれ取り組み方針を掲げています。内容は記載のとおりでございます。

10ページをお願いします。

令和5年度第9期の収支予算書になります。

レストラン、テナントを含めた道の駅全体の売上目標は、第8期の予算比で109.2%、第8期の決算額8億5,551万円も上回る金額を目標としております。売上目標に比例し、収入、支出、いずれも前期比で増加を見込み、予算を計上しております。

以上で報告第7号の説明を終わります。

○議長(木内欽市) 企画政策課長の説明は終わりました。

報告第8号について、行政改革推進課長、登壇してください。

(行政改革推進課長 榎澤 茂 登壇)

○行政改革推進課長(榎澤 茂) 報告第8号、私債権等の放棄についてご説明申し上げます。

この私債権等の放棄につきましては、旭市私債権等管理条例第7条第1項の規定に基づき、令和4年度に放棄した私債権等の内容を同条第2項の規定により報告するものでございます。

報告の2枚目に、私債権等の放棄の内訳として、債権名、放棄事由、件数及び金額を掲載しております。

令和4年度は、市営住宅使用料が6件で165万7,800円、市営住宅駐車場使用料が2件で11万4,800円、水道料金が31件で47万1,971円、農業集落排水処理施設使用料が1件で2,310円、学校給食費が2件で38万7,750円、土地貸付料が3件で38万2,356円となり、全体としては45件で301万6,987円の債権を放棄いたしました。

以上で報告第8号の説明を終わります。

○議長(木内欽市) 企画政策課長。

○企画政策課長(柴 栄男) すみません、先ほど報告第6号、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の令和4年度の事業経営状況及び令和5年度の事業計画について説明をいたしましたが、紙のほうのページはあるんですけども、タブレットに入っているほうの資料が一部欠落していたようでした。

ですので、すみません、タブレットの資料については後日また改めて取り替えるといいますが、差し替えをいたしますのでよろしくをお願いします。どうも失礼しました。

○議長(木内欽市) 行政改革推進課長並びに企画政策課長の説明は終わりました。

以上で議案の補足説明及び報告の説明は終わりました。
以上をもちまして本日の日程は全部終了いたしました。

○議長（木内欽市） これにて本日の会議を散会します。

なお、次回は7日定刻より会議を開きます。

大変ご苦労さまでございました。

散会 午後 3時16分